HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所付近の貝類 : 潮間帯編
Author(s)	北海道大学北方圏貝類研究会; 山崎, 友資
Description	「北大元気プロジェクト2009・2010」の助成を得て出版されたもの
Relation	ISBN 978-4-9904532-1-3
Issue Date	2011-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/48596
Type	book
File Information	Intertidal areas.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター

厚岸臨海実験所付近の貝類 潮間帯編

Molluscan Fauna of Akkeshi Marine Station
Field Science Center for Northern Biosphere, Hokkaido University
Part 1. Intertidal areas.

北海道大学
北方圏貝類研究会 山崎友資　編著

Edited By
Conchological Club of Northern Regions, Hokkaido University
Tomoyasu Yamazaki

2011

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター

厚岸臨海実験所付近の貝類 潮間帯編

Molluscan Fauna of Akkeshi Marine Station
Field Science Center for Northern Biosphere, Hokkaido University
Part 1. Intertidal areas.

北海道大学
北方圏貝類研究会 山崎友資　編著

Edited By
Conchological Club of Northern Regions, Hokkaido University
Tomoyasu Yamazaki

2011

.

© 2011 by Conchological Club of Northern Regions, Hokkaido University

はじめに

厚岸臨海実験所付近に生息する貝類の種類は，波部忠重教授による 1955 年と 1958 年の「厚岸臨海実験所付近の貝類」の報告によって初めて明らかとなった。これらの報告によって，合計 130 種類の貝類が記録された。報告では，北海道周辺海域において一般的に見られるウチダベッコウタマガイ *Marsenina uchidai* (Habe, 1958) など，数種類が新種として記載された。波部忠重教授による報告は，現在においても，厚岸近海に限らず，北海道の太平洋沿岸における貝類相を把握する上で，重要な成果として扱われている。その後, 1969 年に市立函館博物館の石川政治氏によって，厚岸沖の水深 45 から 135 m に生息する 51 種類の貝類が報告された。石川政治氏は厚岸沖の貝類相はカムチャッカ沖の水深約 100 から 200 m の貝類相と類似することを提示した。厚岸臨海実験所付近に生息する貝類について，これらの報告以来，まとまった報告が無く，最後の報告から約 40 年経過していることもあり，多くの種類で属位の変更や，シノニムが整理され，当時のリストを整理・統合する必要性が生じてきた。また，当時の報告に含まれていない種類の生息も予測される。

北海道大学の北方圏貝類研究会は，これまでに，北海道大学元気プロジェクト 2008 で北海道大学が所有する臨海実験所のうち，臼尻水産実験所付近の貝類について調査し，報告してきた。その後，「厚岸臨海実験所付近の貝類の調査」で, 2009 年度と 2010 年度の合計 2 年度，元気プロジェクトに採択された。2 年間に渡るプロジェクトで，厚岸湾を含む北海道東部にこれまで報告されてきた貝類のリストを整理・統合するとともに，厚岸臨海実験所付近に生息する貝類について，調査してきた。調査で得られた成果は，学術的な価値を追求しつつ，一般にも浸透しやすいよう，厚岸臨海実験所付近に生息する貝類について，できるだけ多くの生態写真を取り入れるように努め，当出版物となった。

「厚岸臨海実験所付近の貝類 潮間帯編」の図書は 2005 年に北海道大学水産科学院に設置されたサークル北方圏貝類研究会のメンバーが中心に作成した。標本の一部は，東京大学総合博物館の佐々木猛智博士，国立科学博物館の齋藤　寛博士，芳賀拓真博士，東京家政学院大学の沼波秀樹博士に同定していただいた。貝類の採集は，潮間帯のみならず，実験所沖合で厚岸臨海実験所の技術職員である濱野章一氏，桂川英徳氏の両氏の協力で，調査船によるドレッチで，水深 130 m 付近まで生息する貝類の調査をおこなった。ドレッチで採取された貝類は数百種類にも達し，多くの新しい知見が含まれることから，2 年間のプロジェクトでは完了することは出来ず，今回は潮間帯で見られる種類に限定した。最後に，厚岸臨海実験所所長の仲岡雅裕教授には厚岸付近での貝類相調査について快く快諾していただいた。ここにこれらの方々に深謝の意を表します。

2011 年 3 月 25 日

北方圏貝類研究会会長
山　崎　友　資

目　次

第１章　北方生物圏フィールド科学センター厚岸水産実験所　*1*

1. 厚岸臨海実験所沿革　1　(柏尾 翔)
2. 厚岸湾の環境　2　(柏尾 翔)
3. 厚岸湾の生物相　3　(柏尾 翔)
   (1) プランクトン相　3
   (2) 海藻相　3
   (3) 魚類相　3

第２章　北海道東部における貝類研究の現状　*5*

1. 北海道東部における貝類研究史　5　(山崎友資・柏尾 翔)
2. 北海道東部から報告された貝類　6　(柏尾 翔・山崎友資)
3. 北海道東部から新種記載された貝類　25　(柏尾 翔)

第３章　厚岸臨海実験所付近の貝類　*33*

1. 調査場所　33　(柏尾 翔)
2. 厚岸実験所付近の貝類　33　(山崎友資・柏尾 翔)
   多板綱　34
   腹足綱　38
   二枚貝綱　52
   解　説　56
3. 厚岸臨海実験所付近の貝類相の特徴　60　(山崎友資)

第１章　　北方圏フィールド科学センター
厚岸臨海実験所

1. 厚岸臨海実験所沿革

厚岸湾は，北海道東部の太平洋に面する湾口約 10 km の湾で，厚岸湾の奥には厚岸湖が存在する。湾内ではカキやアサリの養殖が盛んに行われている。厚岸臨海実験所は，湾の東側に昭和 6 (1931) 年に建設され，本館 (図 1-1 右側の施設) と実習宿泊棟 (図 1-1 左側) から構成される。ここでは，厚岸臨海実験所の沿革について記述する。



図 1-1　厚岸湾沖合いから見る厚岸臨海実験所の施設群。実験宿泊棟 (左) と実験棟 (右)。

昭和 6 年 (1931) 5 月 9 日

理学部に付属臨海実験所を設置

昭和 6 年 (1931) 8 月 25 日

理学部付属臨海実験所の新築工事が落成

昭和 6 年 (1931) 10 月 25 日

理学部付属臨海実験所発電室の新築工事が落成

昭和 7 年 (1932) 10 月 20 日

理学部付属臨海実験所実験室の新築工事が落成

昭和 24 年 (1949) 4 月 22 日

大蔵省から，理学部厚岸臨海実験所敷地として，厚岸町所在地二八六，九七○平方米の所管換を受ける

昭和 27 年 (1952) 4 月 17 日

文部省告示第十三号をもって，博物館法の規定に基づき北海道大学理学部付属臨海実験所水族館を指定

昭和 30 年 (1955) 12 月 28 日

文部省告示第百八号をもって，博物館法第二十九条の規定に基づき，博物館に相当する施設として，北海道大学理学部付属厚岸博物館，北海道大学理学部付属臨海実験所水族館を指定

昭和 40 年 (1965) 7 月 28 日

北海道大学理学部付属臨海実験所水族館及び北海道大学理学部付属臨海実験所博物館縦覧規程を制定

昭和 45 年 (1970) 10 月 30 日

理学部付属臨海実験所公務員宿舎四七平方米の新築工事が落成

昭和 47 年 (1972) 10 月 31 日

理学部付属厚岸臨海実験所実験宿泊棟七三四平方米の新築工事が落成

昭和 51 年 (1976) 11 月 13 日

厚岸臨海実験所艇庫一六○平方米の新築工事を落成

昭和 52 年 (1977) 12 月 28 日

厚岸臨海実験所公務員宿舎敷地三○五平方米を厚岸町に売却

昭和 63 年 (1988) 11 月 8 日

厚岸臨海実験所科学博物館六八二平方米の新築工事が落成

(北海道大学庶務部庶務課, 1991)

2. 厚岸湾の環境

厚岸湾は，南北約 13 km，東西約 12 km，約 120 km^2 の面積を有し，北海道の太平洋沿岸に面する湾の中で北海道南西部に位置する噴火湾に次いで大きい。厚岸湾湾口部には面積約 1 km^2 の大黒島が浮かぶ。厚岸湾の奥部には厚岸港があり，その奥に幅約 700 m，最大水深約 10 m の水路を通し，厚岸湖と繋がっている。厚岸湖は別寒辺牛川などの大小いくつかの河川が注ぐ汽水湖である。厚岸湾の気候は，冷たい千島海流 (親潮) の影響を受け，気候は冬季湿潤寒冷型のため，気温は 1 年を通して低く，高温の時期は短い。暖かい陸地と冷たい海水との温度差によって, 5 月から 8 月の間に海霧が生じる。

3. 厚岸湾の生物相

(1) プランクトン相

動物プランクトンと植物プランクトンは，親潮の影響により，寒流系の種が主に出現する。湾内におけるプランクトン群集の生物量は季節的に変化し，春季と秋季に増加する傾向にある。一般に，この傾向は亜寒帯のプランクトン群集に見られ，春季の水温上昇と海表面への日射量の増加，秋季の水温低下がもたらす鉛直混合による栄養塩類の上昇が要因と考えられている。

厚岸湾からは動物プランクトンとしてヒドロクラゲ類 9 種，管クラゲ類 1 種，ホウキムシ類 1 種，ヤムシ類 3 種，ウミグモ類 1 種，枝角類 3 種，カイアシ類 28 種，クマ類 1 種，アミ類 1 種，等脚類 1 種，端脚類 5 種，尾虫類 4 種，サルパ類 1 種，その他は多毛類，棘皮動物類，軟体動物類，十脚類，オキアミ類，腸鰓類が確認されている。また，植物プランクトンとしては珪藻類が約 100 種と非常に多く，他はユレモ類，珪質鞭毛藻類，渦鞭毛藻類が確認されている。

(Hada，1937)

(2) 海藻 (草) 相

海藻 (草) 類は厚岸湾から約 120 種が確認されている。厚岸臨海実験所付近において，紅藻類ではフクロフノリ・フジマツモ・オゴノリなど，褐藻類ではヒバマタ・エゾイシゲ・アナメ・ネコアシコンブ・スジメ・トロロコンブ・オニコンブ・ナガコンブ・ホソバワカメなど，緑藻類ではアナアオサ・ジュズモ・ミル・モツキヒトへなどが多く見られる。国内最大のアマモの単純群落が見られる唯一の場所であり，寒流系のコンブ類や藻類が多く生息するため，生態学的景観に優れている。

厚岸湾で見られるコンブ科の海藻類は，水産有用種として非常に注目されており，カキやアサリとともに代表的な産業種として挙げられる。

(Yamada & Tanaka，1944; 寺脇・新井，2001)

(3) 魚類相

厚岸湾の魚類相は，寒流系の種類で構成されている。厚岸湾沿岸では，北日本系魚類としてサケ，キュウリウオ，ウグイ，コマイ，スジアイナメ，エゾアイナメ，イソバテング，イトヒキカジカ，オホーツクツノカジカ，シモフリカジカ，ギスカジカ，シチロウオ，カムトサチウオ，ヤセサブロウ，ヤギウオ，エゾクサウオ，ハナイトギンポ，ナガガジ，ヌイメガジ，ガジ，ムロランギンポ，ゴマギンポ，ナガヅカ，タケギンポ，ニシキギンポ，ハコダテギンポ，クロガレイ，トウガレイの 28 種と中間系魚類としてアイナメの 1 種が確認されている。また，来遊魚として，ニシン，シシャモ，シラウオ，ワカサギ，ハタハタが挙げられる。

(松浦ら，1993)

引用文献

Hada, Y. 1937. The Fauna of Akkeshi Bay IV. *The Pelagic Ciliata. Journal of the Faculty of Science Hokkaido Imperial University Series, Zoology*, 5(3): 143-216.

北海道大学庶務部庶務課. 1991. 北海道大学一覧 平成元年～二年. 9-113.

松浦啓一・矢部　衛・新井良一. 1993. 北海道東部の沿岸性魚類. 国立科博専報, 26: 125-134.

寺脇利信・新井章吾. 2001. 6. 北海道厚岸町・北海道大学厚岸臨海実験所地先 藻類. *Japanese Journal of Phycology*, 49 (1): 11-13.

Yamada, Y. & Tanaka, T. 1944. Marine Algae in the Vicinity of the Akkeshi Marine Biological Station. *Scientific Papers of the Institute of Algological Research, Faculty of Science*, 3: 47-77.

第２章　　北海道東部における貝類研究の現状

1. 北海道東部における貝類研究史

北海道全体における貝類相は黒田・木下 (1951) のリストによって初めて明らかとなった。以後，北海道における地域貝類相の研究は，各地で行われてきた。北海道東部においては，厚岸湾における波部忠重教授の報告の他に，図 2-1 に示す地域においてまとまった報告がある。近年では，知床半島とその周辺海域が世界自然遺産の指定を受けたことから，知床周辺海域における貝類相研究が活発に行われている (図 2-1，表 2-1；⑫-⑭)。北海道東部の貝類をまとめたものとして，特定の分類群に限っては，ヒザラガイ類で Saito (1994)，オホーツク海沿岸の打ち上げ貝類に限定したものに伊藤 (1963)，鈴木 (2005) の報告がある。これまでに，北海道東部において多くの報告がなされてきたが，これらを整理・統合した例は無い。そこで，次の項目で，これらの報告をまとめ，整理・統合した。

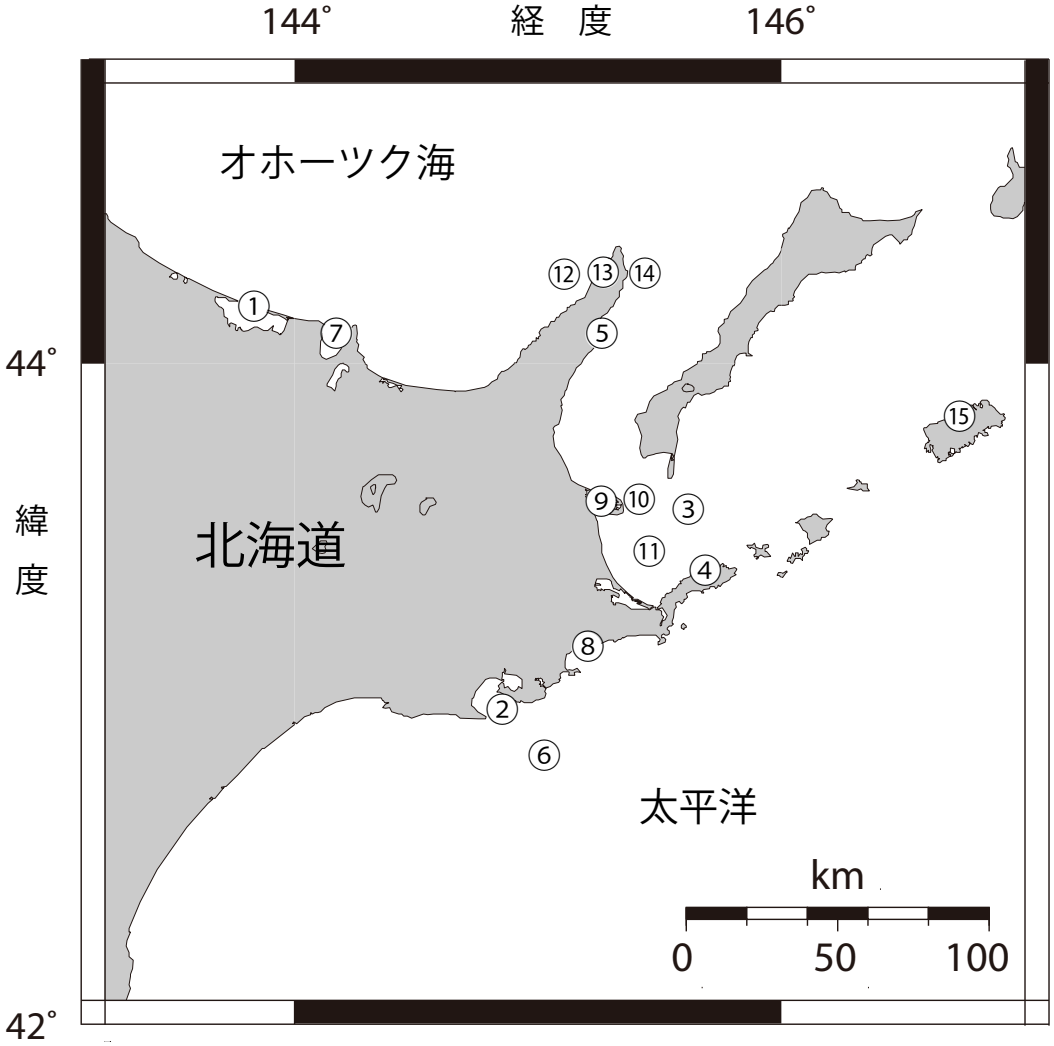


図 2-1. 北海道東部に生息する貝類について，まとまった報告がされた地点。

表 2-1. 図 2-1 で示した報告の年代, 著者と題目。

番 号	年 代	著 者	題 目
①	1935	木下虎一郎	北海道猿澗湖の貝類
②	1957	馬場菊太郎	厚岸と浅虫
③	1957	Shikama Tokio	One some gastropoda from Nemuro Strait, Eastern Hokkaido
④	1967	横平 弘	根室沿岸の貝類
⑤	1968	波部忠重, 伊藤 潔	北海道羅臼産エゾバイ科の種類
⑥	1969	石川政治	淡青丸で採集した北海道厚岸沖の貝類について
⑦	1978	Nakao Shigeru	Distribution of benthos in relation to the sulfide-content in the bottom sediments of mixo-polyhaline lake Notoro, Hokkaido.
⑧	1983	高丸禮好	浜中湾および琵琶湾におけるホッキガイ漁場の大型底生動物群集
⑨	1984	水島敏博, 富田恭司	野付湾におけるアマモ葉上の貝類-II. 分布と出現個体数の季節変化
⑩	1985	富田恭司, 水島敏博	野付湾におけるアマモ葉上の貝類-I. 出現種と主要3種の成長
⑪	1998	土田英治	根室湾から採集された上部浅海系の貝類の特性
⑫	2008	園田 武, 千葉 晋, 五嶋聖治, 山崎友資, 富川 光, 野別貴博	平成19 (2007) 年度知床半島沿岸における浅海域生物相調査業務報告書, 3. 無脊椎動物相
⑬	2009	園田 武, 千葉 晋, 五嶋聖治, 山崎友資, 布村 昇, 駒井智幸, 富川 光, 伊藤 敦, 野別貴博	平成20 (2008) 年度知床半島沿岸における浅海域生物相調査業務報告書, iii. 無脊椎動物相
⑭	2010	園田 武, 千葉 晋, 五嶋聖治, 山崎友資, 布村 昇, 駒井智幸, 富川 光, 伊藤 敦, 野別貴博	平成21 (2009) 年度世界自然遺産生態系モニタリング調査業務報告書, 3) 無脊椎動物相
⑮	2011	野別貴博, 山崎友資	色丹島で確認された貝類

2. 北海道東部から報告された貝類

これまでに, 北海道東部から, 合計 307 種の貝類が記録された。ここでは, これまでに記録された全種類を整理・統合し, 記述する。

Phylum MOLLUSCA LINNAEUS, 1758 軟体動物門
Class POLYPLACOPHORA BLAINVILLE, 1816 多板綱
Order NEOLORICATA BERGENHAYN, 1955 新ヒザラガイ目
Family LEPTOCHITONIDAE DALL, 1889 サメハダヒザラガイ科

1. *Leptochiton assimilis* Thiele, 1909 エゾサメハダヒザラガイ
   Saito, 1994; 山崎・柏尾, 2011
2. *Deshayesiella curvata* (Pilsbry, 1892) カギヅメヒザラガイ
   Saito, 1994

Family ISCHINOCHITONIDAE DALL, 1889 ウスヒザラガイ科

3. *Tonicella squamigera* Thiele, 1909 コケラマダラヒザラガイ
   Saito, 1994
4. *Tonicella zotini* Yakovleva, 1952 ヒメマダラヒザラガイ
   Saito, 1994
5. *Tonicella granulata* Yakovleva, 1952 エゾマダラヒザラガイ
   Saito, 1994; 山崎・柏尾, 2011
6. *Tonicella beringensis lucida* Sirenko, 1974 ツヤマダラヒザラガイ
   Saito, 1994; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010
7. *Tonicella undocaerulea* Sirenko, 1973 アオスジヒザラガイ

Saito, 1994

8. *Tonicella submarmorea* (Middendorff, 1847) マダラヒザラガイ
   Saito, 1994
9. *Schizoplax brandtii* (Middendorff, 1847) セワケヒザラガイ
   Saito, 1994; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011
10. *Ischnochiton comptus* (Gould, 1859) ウスヒザラガイ
    園田ら, 2010
11. *Ischnochiton hakodadensis* Pilsbry, 1893 ハコダテヒザラガイ
    石川, 1969; Saito, 1994; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 山崎・柏尾, 2011
12. *Lepidozona* (*Tripoplax*) *albrechti* (Schrenck, 1861) エゾヤスリヒザラガイ
    Saito, 1994; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011
13. *Lepidozona* (*Tripoplax*) *andrijaschevi* (Yokovleva, 1952) アラメヤスリヒザラガイ
    Saito, 1994
14. *Lepidozona multigranosa* Sirenko, 1975 ホソスジヤスリヒザラガイ
    Saito, 1994

Family MOPALIIDAE DALL, 1889 ヒゲヒザラガイ科

15. *Mopalia schrencki* Thiele, 1909 ホソヒゲヒザラガイ
    Saito, 1994; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010
16. *Mopalia seta* Yakovleva, 1952 オオヒゲヒザラガイ
    Saito, 1994; 山崎・柏尾, 2011
17. *Mopalia middendorffii* (Schrenck, 1861) ナガヒゲヒザラガイ
    Saito, 1994
18. *Mopalia retifera* Thiele, 1909 ヒゲヒザラガイ
    石川, 1969
19. *Placiphorela borealis* Berry, 1917 キタノババガゼ
    Saito, 1994; 山崎・柏尾, 2011
20. *Placiphorela borealijaponica* Saito & Okutani, 1991 エゾババガゼ
    石川, 1969; Saito, 1994; 園田ら, 2010
21. *Amicula amiculata* (Pallas, 1787) オニヒゲヒザラガイ
    Okutani & Saito, 1987; Saito, 1994

Family ACANTHOCHITONIDAE PILSBRY, 1893 ケハダヒザラガイ科

22. *Cryptochiton stelleri* (Middendorff, 1847) オオバンヒザラガイ
    石川, 1969; 高丸, 1983; Saito, 1994; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011

Class GASTROPODA CUVIER, 1797 腹足綱
Order PATELLOGASTROPODA LINDBERG, 1986 カサガイ目
Family LEPETIDAE GRAY, 1840 シロガサガイ科

23. *Lepeta caeca pacifica* Moskalev, 1978 シロガサガイ
    中野・小澤, 2006
24. *Cryptobranchia kuragiensis* (Yokoyama, 1920) クラギシロガサ
    横平・伊藤, 1967; 園田ら, 2010
25. *Limalepeta lima* Dall, 1918 スゲガサ
    Habe, 1958

Family LOTTIIDAE GRAY, 1840 ユキノカサガイ科

26. *Niveotectura pallida* (Gould, 1859) ユキノカサガイ
Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 鈴木, 2005; 中野・小澤, 2006; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
27. *Erginus sybaritica* (Dall, 1871) エゾノハナガサ
Habe, 1958; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 中野・小澤, 2006; 園田ら, 2010
28. *Lottia cassis* (Eschscholtz, 1833) シロガイ
Habe, 1958; 伊藤, 1963; 波部・伊藤, 1965; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 中野・小澤, 2006; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011
29. *Lottia* sp. サラサシロガイ
中野・小澤, 2006; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
30. *Lottia dorsuosa* (Gould, 1859) カモガイ
山崎・柏尾, 2011
31. *Lottia kogamogai* Sasaki & Okutani, 1994 コガモガイ
伊藤, 1963; 鈴木, 2005; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009
32. *Lottia tenuisculpta* Sasaki & Okutani, 1994 コモレビコガモガイ
園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 山崎・柏尾, 2011
33. *Lottia lindbergi* Sasaki & Okutani, 1994 オボロヅキコガモガイ
中野・小澤, 2006; 園田ら, 2010
34. *Nipponacmea concinna* (Lischke, 1870) コウダカアオガイ
伊藤, 1963
35. *Tectura emydia* (Dall, 1914) ベッコウシロガイ
Habe, 1958; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011

Order COCCULINIFORMIA HASZPRUNAR, 1987 ワタゾコシロガサ目
Family COCCULINIDAE DALL, 1882 ワタゾコシロガサ科

36. *Cocculina japonica* Dall, 1907 ワタゾコシロガサ
石山, 1974

Order VETIGASTROPODA SALVINI-PLAWEN, 1980 古腹足目
Family FISSURELLIDAE FLEMING, 1822 スカシガイ科

37. *Punctrella nobilis* A. Adams, 1860 コウダカスカシガイ
伊藤, 1963; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 山崎・柏尾, 2011

Family TROCHIDAE RAFINESQUE, 1815 ニシキウズガイ科

38. *Calliostoma multiliratum* (Sowerby Ⅱ, 1975) ニシキエビス
伊藤, 1963
39. *Ginebis argenteonitens* form *hirasei* Is. Taki & Otsuka, 1943 ヒラセギンエビス
延原, 1999
40. *Margarites helicinus pilsbryi* (Kuroda & Habe, 1952) エゾシタダミ
Habe, 1958; 横平, 1967; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011
41. *Lirularia iridescens* (Schrenck, 1863) アコヤシタダミ
園田ら, 2010
42. *Lirularia iridescens* (Schrenck, 1863) アコヤチグサ
水島・富田, 1984; 富田・水島, 1984

Family TURBINIDAE RAFINESQUE, 1815 サザエ科

43. *Homalopoma sangarense* (Schrenck, 1862) ヤマザンショウ

Habe, 1958; 伊藤, 1963; 富田・水島, 1984; 園田ら, 2010

44. *Homalopoma nocturnum* (Gould, 1861) サンショウガイ
園田ら, 2010
45. *Homalopoma amussitatum* (Gould, 1861) エゾザンショウ
Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平, 1967; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010

Order DISCOPODA FISCHER, 1884 盤足目
Family TURRITELLIDAE LOVEN, 1847 キリガイダマシ科

46. *Turritella* (*Neohaustator*) *fortilirata* (Sowerby, 1914) エゾキリガイダマシ
Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平・伊藤, 1967; 石山, 1974
=*Neohaustator nipponica* (Yokoyama, 1920) ホソエゾキリガイダマシ
石山, 1974

Family BATILLARIIDAE THIELE, 1929 ウミニナ科

47. *Batillaria cumingii* (Crosse, 1862) ホソウミニナ
木下, 1935; Habe, 1958; 伊藤, 1963; 富田・水島, 1984; 五嶋, 1996

Family LITTORINIDAE GRAY, 1840 タマキビ科

48. *Lacuna* (*Lacuna*) *uchidai* (Habe, 1953) ウチダヘソカドタマキビ
Habe, 1958; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011
49. *Lacuna (Epheria) turrita* (A. Adams, 1861) チャイロタマキビ
伊藤, 1963
50. *Lacuna* (*Epheria*) *decorata* (A. Adams, 1861) コウダカチャイロタマキビ
木下, 1935; Habe, 1958; 横平・伊藤, 1967; 水島・富田, 1984; 富田・水島, 1984; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011
51. *Littorina* (*Littorina*) *squalida* Broderip & Sowerby, 1892 エゾタマキビ
木下, 1935; Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平・伊藤, 1967; 大垣, 1983; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
52. *Littorina* (*Littorina*) *brevicula* (Philippi, 1844) タマキビ
Habe, 1958; 伊藤, 1963; 大垣, 1983; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010
53. *Littorina* (*Littorina*) *mandshurica* Schrenck, 1867 アツタマキビ
伊藤, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009
54. *Littorina* (*Neritrema*) *sitkana* (Philippi, 1846) クロタマキビ
木下, 1935; Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 大垣, 1983; 鈴木, 2005; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011

Family BARLEEIDAE GRAY, 1857 チャツボ科

55. *Barleeia angustata* (Pilsbry, 1901) チャツボ
Habe, 1958; 水島・富田, 1984; 富田・水島, 1984; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010

Family RISSOIDAE GRAY, 1847 リソツボ科

56. *Alvania* (*Alvania*) *concinna* (A. Adams, 1861) タマツボ
水島・富田, 1984; 富田・水島, 1984; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010

Family FALSICINGULIDAE SLAVOSHEVSKAYA, 1976 ナタネツボ科

57. *Falsicingula kurilensis* (Pilsbry, 1905) ナタネツボ

Habe, 1958; 山崎・柏尾, 2011

Family POMATIOPSIDAE STIMPSON, 1865 イツマデガイ科

58. *Cecina manchurica* A. Adams, 1861 クビキレガイモドキ
富田・水島, 1984

Family CAPULIDAE FLEMING, 1882 カツラガイ科

59. *Trichotropis* (*Ariadnaria*) *insignis* (Middendorff, 1849) カゴメナワボラ
Habe, 1958; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 山崎・柏尾, 2011
60. *Trichotropis bicarinata* (Sowerby, 1825) ヒゲマキナワボラ
Habe, 1958; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969

Family CALYPTRAEIDAE LAMARCK, 1809 カリバガサガイ科

61. *Crepidula grandis* Middendorff, 1849 エゾフネガイ
Habe, 1958; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 石山, 1974; 土田, 1998; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011

Family VELUTINIDAE GRAY, 1840 ハナヅトガイ科

62. *Marsenia uchidai* (Habe, 1958) ウチダベッコウタマガイ
Habe, 1958; 伊藤, 1963; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
63. *Velutina* (*Velutella*) *plicatilis* (Müller, 1774) モモイロハナヅトガイ
横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 富田・水島, 1984; 山崎・柏尾, 2011
64. *Velutina* (*Velutella*) *cryptospira* Middendorff, 1849 ウスカワハナヅトガイ
Habe, 1958; 山崎・柏尾, 2011
65. *Velutina* (*Limneria*) *conica* Dall, 1886 セイタカハナヅトガイ
Habe, 1958; 石川, 1969; 土田, 1998

Family NATICIDAE FORBES, 1838 タマガイ科

66. *Bulbus tenniculus* (Sowerby, 1915) クリガイ
Habe, 1958; 横平・伊藤, 1967; 山崎・柏尾, 2011
67. *Bulbus fragilis* (Leach, 1819) ウスカワクリガイ
横平, 1967
68. *Bulbus flavus elongates* Habe & Ito, 1965 ナガクリガイ
波部・伊藤, 1965
69. *Euspira pila* (Pilsbry, 1911) タマツメタ
Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 高丸, 1983; 高丸, 1985; 土田, 1998; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011
= *Lunatia pila ovata* (Sowerby, 1914) セイタカタマツメタ
横平, 1967
70. *Euspira pallida* (Broderip & Sowerby, 1829) ウスイロタマツメタ
石川, 1969; 石山, 1974
71. *Glossaulax didyma* (Röding, 1798) ツメタガイ
高丸, 1985; 鈴木, 2005
72. *Cryptonatica janthostoma* (Deshayes, 1839) チシマタマガイ
Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 高丸, 1983; 高丸, 1985;

土田, 1998; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010

73. *Cryptonatica andoi* (Nomura, 1935) エゾタマガイ
木下, 1935; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1985; 鈴木, 2005

74. *Cryptonatica hirasei* (Pilsbry, 1905) ヒラセタマガイ
Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平・伊藤, 1967; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011

75. *Natica aleutica* Dall, 1919 キタタマガイ
横平, 1967; 高丸, 1985
=*Natica russa* Gould, 1859 コシタカタマガイ
Habe, 1958; 石山, 1974

Family RANELLIDAE GRAY, 1854 フジツガイ科

76. *Fusitriton oregonensis* (Redfield, 1848) アヤボラ
Shikama, 1957; Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 石山, 1974; 高丸,1983; 鈴木, 2005; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011

Order PTENOGLOSSA GRAY, 1853 翼舌目
Family CERITHIOPSIDAE BLAINVILLE, 1818 クリイロケシカニモリ科

77. *Cerithiopsis stejnegeri* Dall, 1884 クリイロケシカニモリ
園田ら, 2010

Family EPITONIIDAE BERRY, 1910 イトカケガイ科

78. *Acirsa* (*Acirsa*) *ochotensis* (Middendorff, 1849) オホーツクイトカケ
石山, 1974

Order NEOGASTROPODA WENZ, 1929 新腹足目
Family MURICIDAE RAFINESQUE, 1815 アッキガイ科

79. *Ceratostoma inornatus* (Récluz, 1851) オウヨウラク
Habe, 1958; 伊藤, 1963; 石川, 1969; 富田・水島, 1984; 土田, 1998

80. *Ceratostoma inornatus endermonis* (Smith, 1875) エゾヨウラク
横平・伊藤, 1967; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011
=*Pteropurpura* (*Pteropurpura*) *lumaria* (Yokoyama, 1926) カギヨウラク
横平, 1967; 横平・伊藤, 1967

81. *Pteropurpura* (*Ocinebrellus*) *aduncа* (Sowerby, 1834) イセヨウラク
Habe, 1958

82. *Nucella lima* (Gmelin, 1791) チヂミボラ
横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 鈴木, 2005; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
=*Nucella lamellosa lamellosa* (Gmelin, 1791) ヒレチヂミボラ
Habe, 1958; 石川, 1969
=*Nucella freycinetti* (Deshayes, 1841) エゾチヂミボラ
Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967
=*Nucella freycineti alabaster* (Pilsbry, 1907) ナガチヂミボラ
横平, 1967; 横平・伊藤, 1967
=*Nucella lamellosa hormica* Dall, 1915 コシタカチヂミボラ
伊藤, 1963; 石川, 1969

83. *Trophon scitula emphaticus* Habe & Ito, 1965 ナミジワツノオリイレ
波部・伊藤, 1965
84. *Boreotrophon candelabrum* (Reeve, 1847) ツノオリイレ
伊藤, 1963; 横平・伊藤, 1967; 土田, 1998; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011
=*Boreotrophon beringi* (Dall, 1902) エゾツノオリイレ
伊藤, 1963; 横平, 1967; 石川, 1969
85. *Boreotrophon beringi* Dall, 1902 ベーリングツノオリイレ
Habe, 1958
86. *Boreotrophon flos* Okutani, 1964 ヤエバツノオリイレ
横平・伊藤, 1967
87. *Trophonopsis scitula* Dall, 1907 チヂミツノオリイレ
土田, 1998
88. *Boreotrophon alaskanus* Dall, 1902 シロハシツノオリイレ
=*Boreotrophon alaskanus* Dall, 1902 アラスカツノオリイレ
Habe, 1958; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 石山, 1974
89. *Boreotrophon paucicostatus* Habe & Ito, 1965 テントウキツノオリイレ
波部・伊藤, 1965

Family COLUMBELLIDAE SWAINSON, 1840 フトコロガイ科

90. *Mitrella burchardi* (Dunker, 1877) コウダカマツムシ
木下, 1935; Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; Nakao, 1978;
富田・水島, 1984; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011
91. *Amphissa columbiana* Dall, 1916 ニクイロマツムシ
横平・伊藤, 1967
92. *Mitrella bicincta* Gould, 1860 ムギガイ
横平・伊藤, 1967
93. *Mitrella* (*Indomitrella*) *conspersa* (Gaskoin, 1852) フクレシラゲガイ
Habe, 1958

Family NASSARIIDAE IREDALE, 1916 ムシロガイ科

94. *Reticunassa festiva* (Powy, 1833) アラムシロ
五嶋, 1996
95. *Reticunassa multigranosa* (Dunker, 1847) ヒメムシロ
Habe, 1958; 鈴木, 1963; 富田・水島, 1984
96. *Reticunassa fratercula* (Dunker, 1860) クロスジムシロ
Habe, 1958; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010
=*Nassa hypolia* Pilsbry, 1859 アオモリムシロ
木下, 1935; 鈴木, 1963; 富田・水島, 1984

Family BUCCINIDAE RAFINESQUE, 1815 エゾバイ科

97. *Beringius* (*Beringion*) *polynematicus* Pilsbry, 1907 ナガバイ
黒田, 1936; 横平・伊藤, 1967
98. *Volutopsius simplex* Dall, 1907 クリイロカミオボラ
黒田, 1936; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967
99. *Volutopsius* (*Habevolutopsius*) *hirasei* Pilsbry, 1907 リクゼンボラ
石山, 1974
100. *Pyrulofusus deformis deformis* (Reeve, 1847) ナシボラ
黒田, 1936

101.*Pyrulofusus dexius japonicus* Habe & Ito, 1980 ミギマキタテゴトナシボラ
横平・伊藤, 1967; 波部・伊藤, 1980
102.*Pseudoliomesus ooides* (Middendorff, 1848) タマゴバイ
石川, 1969
103.*Ancistrolepis grammata* (Dall, 1907) ワダチバイ
Shikama, 1957; 波部・伊藤, 1968; 園田ら, 2009
104.*Clinopegma unicum damon* (Dall, 1907) ヤゲンバイ
波部・伊藤, 1970
105.*Mohnia* (*Retimohnia*) *yanamii* (Yokoyama, 1926) ホソバイ
横平・伊藤, 1967
106.*Colus esychus* (Dall, 1907) ツムバイ
黒田, 1936; Shikama, 1957; 石川, 1969; 石山, 1974
107.*Colus* (*Aulacofusus*) *periscelidus* (Dall, 1891) ウスバヒモマキツムバイ
黒田, 1936
108.*Colus* (*Aulacofusus*) *periscelidus* (Dall, 1891) マキミゾツムバイ
石川, 1969
109.*Plicifusus kroyeri* (Möller, 1842) オオシワバイ
横平・伊藤, 1967
110.*Plicifusus plicatus* (A. Adams, 1863) オオエゾシワバイ
黒田, 1936; Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969
=*Plicifusus polypleuratus* (Dall, 1907) シワバイ
黒田, 1936; 石川, 1969
111.*Plicifusus* (*Retifusus*) *rhyssoides* Dall, 1918 リクゼンシワバイ
Habe, 1958; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 石山, 1974
112.*Plicifusus rhyssus* (Dall, 1907) ネジケシワバイ
Habe, 1958
113.*Plicifusus* (*Retifusus*) *brunneus* (Dall, 1877) チャイロシワバイ
Habe, 1958; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969
114.*Neptunea polycostata* Scarlato, 1952 エゾボラ
鈴木, 1963; 横平・伊藤, 1967
115.*Neptunea intersculpta* (Sowerby Ⅲ, 1899) エゾボラモドキ
Habe, 1958; 横平・伊藤, 1967; 波部・伊藤, 1968; 石山, 1974
116.*Neptunea frater* (Pilsbry, 1901) コエゾボラモドキ
石山, 1974
117.*Neptunea* (*Neptunea*) *amianta* (Dall, 1890) マルエゾボラ
黒田, 1936
118.*Neptunea constricta* (Dall, 1907) チヂミエゾボラ
石山, 1974
119.*Neptunea heros* (Gray, 1850) アツエゾボラ
黒田, 1936; 伊藤, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 野別・山崎, 2011
120.*Neptunea vinosa* (Dall, 1919) フジイロエゾボラ
横平・伊藤, 1967; 石山, 1974
121.*Neptunea elegantula* Ito & Habe, 1965 セイタカエゾボラ
伊藤・波部, 1965
122.*Neptunea* (*Barbitonia*) *arthritica* (Bernardi, 1857) ヒメエゾボラ
木下, 1935; Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1983; 園田ら, 2009;
園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011
123.*Neptunea* (*Neptunea*) *insularis insularis* (Dall, 1895) ヤセエゾボラ
石山, 1974
124.*Neptunea* (*Neptunea*) *lyrata* (Gmelin, 1789) ウネエゾボラ

Shikama, 1957; Habe, 1958
125.*Buccinum zelotes* Dall, 1907 イジケシライトマキ
Habe, 1958
126.*Buccinum isaotakii* Kira, 1959 シライトマキバイ
石山, 1974
127.*Buccinum nipponense* Dall, 1907 ヒメシライトマキ
横平・伊藤, 1967; 石山, 1974
128.*Buccinum opisthoplectum* Dall, 1907 クビレバイ
横平, 1967; 横平・伊藤, 1967
129.*Buccinum elatior* Midendorff, 1849 チヂワエゾバイ
石川, 1969
130.*Buccinum verkruzeni* Kobelt, 1883 オオカラフトバイ
横平・伊藤, 1967; 石川, 1969
131.*Buccinum middendorffi* Verkruzen, 1882 エゾバイ
Habe, 1958; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1983; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
132.*Buccinum rhodium* Dall, 1919 ロジウムバイ
Shikama, 1957
133.*Buccinum rausicum* Shikama, 1952 ラウスバイ
Shikama, 1957; 波部・伊藤, 1968
134.*Buccinum ochotense* (Middendorff, 1848) オホーツクバイ
Habe, 1958; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 波部・伊藤, 1968; 鈴木, 2005; 園田ら, 2008;
園田ら, 2009; 園田ら, 2010
135.*Buccinum mirandum* Smith, 1875 コエゾバイ
鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011;
山崎・柏尾, 2011
=*Buccinum polaris mirandum* (Smith, 1875) ヒメエゾバイ
Habe, 1958; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969
=*Buccinum polare schrenckii* Verkriizen, 1882 マルエゾバイ
横平, 1967; 横平・伊藤, 1967
136.*Buccinum chishimanum nux* Habe & Ito, 1965 ウリザネエゾバイ
波部・伊藤, 1965
137.*Buccinum bombycinum* Dall, 1907 ウスカワバイ
石山, 1974
138.*Buccinum chishimanum* Pilsbry, 1904 チシマバイ
Habe, 1958; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010;
野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
139.*Buccinum japonicum* A. Adams, 1861 コビトクビレバイ
波部・伊藤, 1965; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969
140.*Buccinum aniwanum* (Dall, 1907) アニワバイ
Shikama, 1957; 波部・伊藤, 1968
141.*Buccinum osagawai* Habe & Ito, 1968 オサガワバイ
波部・伊藤, 1968
142.*Neoberingius frielei miyauchii* Habe & Ito, 1972 ミヤウチヒメナガバイ
波部・伊藤, 1971
143.*Buccinum kinukatsugi* Habe & Ito, 1968 キヌカツギバイ
波部・伊藤, 1965; 波部・伊藤, 1968
144.*Buccinum rossicum* Dall, 1907 ロシアバイ
Shikama, 1957; Habe, 1958
145.*Reticubuccinum wakuii* (Habe & Ito, 1980) ワクイバイ
伊藤・波部, 1980
146.*Volutharpa perryi ainos* (Kuroda & Kinoshita, 1956) クマモスソガイ

波部・伊藤, 1968; 波部・伊藤, 1980
147.*Volutharpa ampullacea* (Middendorff, 1848) ヒメモスソガイ
Habe, 1958; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009 ; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
148.*Volutharpa perryi* (Jay, 1855) モスソガイ
園田ら, 2010

Family VOLUTIDAE RAFINESQUE, 1815 ガクフボラ科

149.*Fulgoraria* (*Nipponomelon*) *prevostiana* (Crosse, 1878) ホンヒタチオビ
石山, 1974
150.*Fulgoraria* (*Nipponomelon*) *magna* Kuroda & Habe, 1950 オオヒタチオビ
石山, 1974

Family OLIVIDAE LATREILLE, 1825 マクラガイ科

151.*Olivella fulgurata* (Adams & Reeve, 1850) ムシボタル
石山, 1974

Family VOLUTOMITRIDAE GRAY, 1854 フデヒタチオビ科

152.*Volutomitra alaskana* Dall, 1902 フデヒタチオビ
石山, 1974

Family CANCELLARIIDAE FORBES & HANLEY, 1851 コロモガイ科

153.*Admete viridula* (Fabricius, 1780) エゾゴロモ
Habe, 1958; 横平・伊藤, 1967

Family TURRIDAE SWAINSON, 1840 クダマキガイ科

154.*Suavodrillia declivis* (Martens, 1888) トガリクダマキガイ
Habe, 1958; 鈴木, 1963; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010
155.*Aforia diomedea* Bartsch, 1945 ヤゲンイグチ
Habe, 1958; 横平・伊藤, 1967; 石山, 1974
156.*Antiplanes contraria* (Yokoyama, 1926) ヒダリマキイグチ
横平・伊藤, 1967; 石山, 1974
157.*Rectiplanes sanctioannis* (E. A. Smith, 1875) エゾイグチガイ
Habe, 1958; 横平・伊藤, 1967
158.*Ophiodermella erosa* (Schrenck, 1862) エゾシャジクガイ
Habe, 1958; 石川, 1969
159.*Ophiodermella akkeshiensis* Habe, 1958 アッケシシャジク
Habe, 1958
160.*Oenopota okudai* Habe, 1958 オクダフタマンジ
Habe, 1958
161.*Oenopota hanazakiensis* Habe, 1958 ハナサキフタマンジ
Habe, 1958
162.*Obesotoma tenuilirata* (Dall, 1871) チャイロフタマンジ
横平・伊藤, 1967
163.*Obesotoma uchidai* Habe, 1958 ウチダフタマンジ
Habe, 1958
164.*Propebela* (*Propebela*) *exquisita* Bartsch, 1941 コウシフタマンジ

石川, 1969
165.*Philbertia* (*Pseudodaphnella*) *leuckarti* (Dunker, 1860)　クリイロフタマンジ
Habe, 1958; 鈴木, 1963; 横平・伊藤, 1967
166.*Philbertia* (*Pseudodaphnella*) *granicosta* (Reeve, 1846)　ニクイロフタマンジ
Habe, 1958; 鈴木, 1963

Order HETEROBRANCHIA GRAY, 1840　異旋目
Family PYRAMIDELLIDAE GRAY, 1840　トウガタガイ科

167.*Derjuginella rufofasciata* (E. A. Smith, 1875)　キンスジクチキレ
Habe, 1958; 石川, 1969; 土田, 1998
168.*Menestho akkeshiensis* Habe, 1958　アッケシヒサゴクチキレ
Habe, 1958
169.*Odostomia fujitanii* Yokoyama, 1927　フジタニクチキレモドキ
土田, 1998
170.*Marginodostomia hilgendorfi* Clessin, 1900　オリイレクチキレモドキ
富田・水島, 1984

Family RETUSIDAE THIELE, 1926　ヘコミツララガイ科

171.*Retusa* (*Decolifer*) *insignis* (Plisbry, 1904)　コメツブガイ
富田・水島, 1984

Family PHILINIDAE GRAY, 1850　キセワタガイ科

172.*Philine argentata* Gould, 1859　キセワタガイ
土田, 1998
173.*Aglaia ezoensis* Baba, 1957　エゾキセワタ
馬場, 1957

Order OPISTHOBRANCHIA MILNE-EDWARDS, 1848　嚢舌目
Family HERNAEIDAE　ミドリアマモウミウシ科

174.*Ercolania boodleae* (Baba, 1938)　アリモウミウシ
園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010

Order ANASPIDEA　アメフラシ目
Family APLYSIIDAE　アメフラシ科

175.*Aplysia* (*Varria*) *kurodai* (Baba, 1937)　アメフラシ
園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010
176.*Aplysia* (*Aplysia*) *juliana* Quoy & Gaimard, 1832　アマクサアメフラシ
馬場, 1957
177.*Aplysia* (*Pruvotaplysia*) *parvula* Guilding in Morch, 1863　クロヘリアメフラシ
園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010

Order GYMNOSOMATA　裸殻翼足目
Family CLIONIDAE　ハダカカメガイ科

178.*Chiopsis krohnii* Troschel, 1854　タルダカハダカカメガイ
鈴木, 2005

179.*Clione limacina limacina* (Phipps, 1774) ハダカカメガイ
鈴木ら, 2005

Order NUDIBRANCHIA 裸鰓目
Family GONIODORIDIDAE ネコジタウミウシ科

180.*Triopha carpinteri* (Stearns, 1873) ハナサキウミウシ
園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010

Family VAYSSIEREIDAE オカダウミウシ科

181.*Vayssierea felis* (Cllingwood, 1881) オカダウミウシ
馬場, 1957

Family ONCHIDORIDIDAE ラメリウミウシ科

182.*Acanthodoris pilosa* (Abildgaard, 1789) トゲウミウシ
馬場, 1957

Family TRITONIIDAE ホクヨウウミウシ科

183.*Tritonia diomedea* Bergh, 1894 ホクヨウウミウシ
園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010

Family DORIDIDAE ドーリス科

184.*Diaulula sandiegensis* (Cooper, 1862) エゾカスリウミウシ
馬場, 1957

Family AEOLIDIIDAE オオミノウミウシ科

185.*Aeolidia papillosa* (Linnaeus, 1761) オオミノウミウシ
馬場, 1957

Family FASELINIDAE ヨツスジミノウミウシ科

186.*Hermissenda crassicornis* (Eschscholtz, 1831) エムラミノウミウシ
園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010
187.*Stiliger* (*Ercolania*) *akkeshiensis* Baba, 1957 エゾタマミルウミウシ
馬場, 1957
188.*Lamellidoris* (*Lamellidoris*) *fusca* (Müller, 1776) ラメリウミウシ
馬場, 1957
189.*Trochuina tetr aquetra* (Pallas, 1783) オオバンハナガサウミウシ
馬場, 1968
190.*Dirona akkeshiensis* Volodchenko, 1941 アケボノウミウシ
馬場, 1957
191.*Acanthodoris uchidai* Baba, 1957 ウチダウミウシ
馬場, 1957
192.*Coryphella athadona* Bergh, 1875 コザクラミノウミウシ
馬場, 1957; 馬場, 1987; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010

Order BASOMMATOPHORA CUVIER, 1817 基眼目

Family SIPHONARIIDAE GARY, 1840 カラマツガイ科

193.*Siphonacmea oblongata* (Yokoyama, 1926) キタノカラマツガイ
Habe, 1958; Toyohara et al., 2001

Class SCAPHOPODA BROWN, 1862 掘足綱
Order DENTALIIDA DACOSTA, 1776 ツノガイ目
Family GADILINIDAE CHISTIKOV, 1975 ツノガイ科

194.*Siphonodentalium okudai* Habe, 1953 キタノクチキレツノガイ
Habe, 1955; 土田, 1998

Class BIVALVIA LINNAEUS, 1758 二枚貝綱
Order NUCULOIDA DALL, 1889 クルミガイ目
Family NUCULIDAE GRAY, 1824 クルミガイ科

195.*Leionucula tenuis* (Montagu, 1808) コグルミガイ
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 石川, 1969; 石山, 1974
196.*Acila divaricata vigilia* Schenck, 1936 カラフトキララ
石山, 1974
197.*Acila* (*Truncacila*) *insignis* (Gould, 1861) キララガイ
鈴木, 1963; 石山, 1974; 土田, 1998; 鈴木, 2005

Family NUCULANIDAE H. & A. ADAMS, 1858 シワロウバイ科

198.*Nuculana pernula* (Müller, 1771) ホンシワロウバイ
Habe, 1955
199.*Nuculana* (*Robaia*) *robai* (Kuroda, 1929) チリロウバイ
石山, 1974
200.*Nuculana* (*Thestyleda*) *yokoyamai yokoyamai* Kuroda, 1934 アラボリロウバイ
石山, 1974
201.*Jupiteria* (*Saccella*) *gordonis* (Yokoyama, 1920) ゴルドンソデガイ
石山, 1974
202.*Yoldia amygdalea* (Valenciennes, 1846) スモモソデガイ
石山, 1974
203.*Yoldia* (*Cnesterium*) *seminuda* Dall, 1871 キタノフリソデガイ
石川, 1969
204.*Yoldia* (*Cnesterium*) *notabilis* Yokoyama, 1922 フリソデガイ
Habe, 1955; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1983
205.*Yoldia* (*Cnesterium*) *johanni* Dall, 1925 エゾソデガイ
Habe, 1955; 横平・伊藤, 1967; 石山, 1974; 土田, 1998
206.*Magayoldia thraciaeformis* (Storer, 1838) フネソデガイ
石山, 1974

Order ARCOIDA STOLICZKA, 1871 フネガイ目
Family ARCIDAE LAMARCK, 1809 フネガイ科

207.*Arca boucardi* Jousseaume, 1894 コベルトフネガイ
木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 鈴木, 2005; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011

Family LIMOPSIDAE DALL, 1895 シラスナガイ科

208.*Limopsis uwadokoi* Oyama, 1951 ミノシラスナガイ
石山, 1974

Family GLYCYMERIDIDAE NEWTON, 1916 タマキガイ科

209.*Glycymeris imperialis* Kuroda, 1934 ミタマキガイ
石山, 1974
210.*Glycymeris yessoensis* (Sowerby, 1889) エゾタマキ
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 土田, 1998; 鈴木, 2005; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010

Order MYTILOIDA FERUSSAC, 1822 イガイ目
Family MYTILIDAE REFINESQUE, 1815 イガイ科

211.*Mytilus galloprovincialis* Lamarck, 1819 ムラサキイガイ
Habe, 1955; 横平・伊藤, 1967; 鈴木, 2005; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
212.*Mytilus trossulus* Gould, 1850 キタノムラサキイガイ
園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010
213.*Mytilus coruscus* Gould, 1861 イガイ
横平・伊藤, 1967; 鈴木, 2005; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011
214.*Mytilus* (*Crenomytilus*) *grayanus* Dunker, 1853 エゾイガイ
木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平・伊藤, 1967; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010
215.*Modiolus kurilensis* Bernard, 1983 エゾヒバリガイ
木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 石山, 1974; 鈴木, 2005; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
216.*Musculus niger* (Gray, 1824) クロタマエガイ
横平・伊藤, 1967
217.*Musculus laevigatus* (Gray, 1824) ハブタエタマエガイ
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 土田, 1998; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011
218.*Musculista senhousia* (Benson, 1842) ホトトギスガイ
木下, 1935; Habe, 1955; Nakao, 1978; 富田・水島, 1984; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010
219.*Adula schmidti* (Schrenck, 1867) マユイガイ
横平・伊藤, 1967
220.*Adula falcatoides* Habe, 1955 チヂミマユイガイ
Habe, 1955

Order OSTREOIDA FERUSSAC, 1822 カキ目
Family PECTINIDAE WILKES, 1810 イタヤガイ科

221.*Chlamys* (*Chlamys*) *islandica islandica* (Müller, 1776) オーロラニシキ
石川, 1969
222.*Chlamys* (*Chlamys*) *islandica erythrocomata* (Dall, 1907) カミオニシキ
横平・伊藤, 1967
223.*Chlamys* (*Chlamys*) *islandica hindsi* (Carpenter, 1864) トバニシキ
石川, 1969; 石山, 1974
224.*Chlamys* (*Azumapecten*) *farreri nipponensis* (Kuroda, 1932) アズマニシキガイ

鈴木, 2005
225.*Chlamys* (*Azumapecten*) *farreri akazara* (Kuroda, 1932) アカザラ
野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
226.*Swiftopecten swiftii* (Bernardi, 1858) エゾキンチャク
木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 鈴木, 2005; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
227.*Mizuhopecten yessoensis* (Jay, 1857) ホタテガイ
木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 土田, 1998; 鈴木, 2005; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
228.*Parvamussium alaskense* (Dall, 1871) アラスカニシキ
Habe, 1955; 横平・伊藤, 1967; 石山, 1974

Family ANOMIIDAE RAFINESQUE, 1815 ナミマガシワ科

229.*Anomia chinensis* Philippi, 1849 ナミマガシワ
鈴木, 1963; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009
230.*Monia macroschisma* (Deshayes, 1839) ナミマガシワモドキ
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010

Family OSTREIDAE WILKES, 1810 イタボガキ科

231.*Crassostrea gigas* (Thunberg, 1793) マガキ
木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 鈴木, 2005; 山崎・柏尾, 2011
232.*Crassostrea nippona* (Seki, 1934) イワガキ
園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011

Order VENEROIDA H. & A. ADAMS, 1856 マルスダレガイ目
Family THYASIRIDAE DALL, 1900 ハナシガイ科

233.*Thyasira tokunagai* Kuroda & Habe, 1961 ハナシガイ
Habe, 1955
234.*Adontorhina subquadrata* (A. Adams, 1862) ユキヤナギガイ
Habe, 1955; 土田, 1998

Family UNGULINIDAE H. & A. ADAMS, 1857 フタバシラガイ科

235.*Felaniella usta* (Gould, 1861) ウソシジミ
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 土田, 1998
236.*Diplodonta asperoides* Nomura, 1932 ヒラシオガマ
石山, 1974

Family TURTONIIDAE CLARK, 1855 ノミハマグリ科

237.*Turtonia minuta* (Fabricius, 1780) ノミハマグリ
Habe, 1955; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011

Family CARDITIDAE FLEMING, 1828 トマヤガイ科

238.*Cyclocardia crebricostata* (Krause, 1885) オオマルフミガイ
横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 土田, 1998
239.*Cyclocardia erimoensis* (Tiba, 1972) クマアサリ

石山, 1974
240. *Cyclocardia ferruginea* (Clessin, 1888) クロマルフミガイ
石山, 1974
241. *Cyclocardia crassidens* (Broderip & Sowerby, 1829) カガミマルフミガイ
横平・伊藤, 1967
242. *Cyclocardia* (*Crassicardia*) *crassidens* (Broderip & Sowerby, 1829) アラスジマルフミ
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 野別・山崎, 2011

Family ASTARTIDAE D'ORBIGNY, 1844 エゾシラオガイ科

243. *Tridonta borealis* Schumacher, 1817 エゾシラオ
石山, 1974
244. *Tridonta* (*Toridonta*) *bennetti* (Dall, 1903) コエゾシラオガイ
鈴木, 1963
245. *Tridonta alaskensis* (Dall, 1903) アラスカシラオ
石山, 1974
246. *Tridonta filatovae* (Habe, 1964) スダレシラオガイ
横平・伊藤, 1967; 石川, 1969

Family CARDIIDAE LAMARCK, 1809 ザルガイ科

247. *Clinocardium nuttallii* (Conrad, 1837) オオイシカゲガイ
Habe, 1955
248. *Clinocardium californiense* (Deshayes, 1839) エゾイシカゲガイ
木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1983; 土田, 1998; 鈴木, 2005; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
= *Clinocardium californiense* (Deshayes, 1839) ホソスジイシカゲガイ
Habe, 1955; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969
249. *Clinocardium ciliatum* (Fabricius, 1780) コケライシカゲガイ
鈴木, 1963; 石川, 1969; 石山, 1974

Family MACTRIDAE LAMARCK, 1809 バカガイ科

250. *Mactra chinensis* Philippi, 1846 バカガイ
木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1983; 高丸, 1985; 鈴木, 2005; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011
251. *Yagudinella notabilis* (Sowerby III, 1915) アリソトリガイ
鈴木, 1963
252. *Pseudocardium sachalinense* (Schrenck, 1862) ウバガイ
木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1983; 高丸, 1985; 鈴木, 2005; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
253. *Spisula polynyma* Stimpson, 1860 ナガウバガイ
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 土田, 1998; 園田ら, 2010
254. *Ratellops pulchellus* (Adams & Reeve, 1850) チヨノハナガイ
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 土田, 1998

Family MESODESMATIDAE GRAY, 1840 チドリマスオガイ科

255. *Coecella chinensis* Deshayes, 1855 クチバガイ
Habe, 1955

Family TELLINIDAE WILKES, 1810 ニッコウガイ科

256.*Megangulus venulosa* (Schrenck, 1861) サラガイ
Habe, 1955; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1983; 高丸, 1985; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011
257.*Megangulus luteus* (Wood, 1828) ベニサラガイ
Habe, 1955; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1983; 高丸, 1985; 鈴木, 2005; 野別・山崎, 2011
258.*Megangulus zyonoensis* (Hatai & Nisiyama, 1939) アラスジサラガイ
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 高丸, 1983; 高丸, 1985; 園田ら, 2010
259.*Cadella lubrica* (Gould, 1861) トバザクラガイ
鈴木,1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 土田, 1998
260.*Macoma calcarea* (Gmelin, 1791) ケショウシラトリ
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 石山, 1974; 高丸, 1983; 土田, 1998
261.*Macoma middendorffi* Dall, 1886 セイタカシラトリ
横平・伊藤, 1967
262.*Macoma incongrua* (Martens, 1865) ヒメシラトリ
木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 五嶋, 1996; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011
263.*Macoma* (*Macoma*) *moesta* (Deshayes, 1855) ソトオリシラトリ
横平・伊藤, 1967
264.*Macoma sectior* Oyama, 1950 サギガイ
園田ら, 2010
265.*Macoma* (*Macoma*) *nipponica* (Tokunaga, 1906) ニッポンシラトリ
鈴木, 1963
266.*Heteromacoma irus* (Hanley, 1845) シラトリモドキ
鈴木, 1963

Family SEMELIDAE STOLICZKA, 1870 アサジガイ科

267.*Theora fragilis* (A. Adams, 1855) シズクガイ
鈴木,1963

Family PSAMMOBIIDAE FLEMING, 1818 シオサザナミガイ科

268.*Gobraeus kazusensis* (Yokoyama, 1922) エゾマスオ
鈴木,1963
269.*Nuttallia commoda* (Yokoyama, 1925) ナガイソシジミ
横平・伊藤, 1967
270.*Nuttallia japonica* (Reeve, 1857) イソシジミ
木下, 1935; 横平・伊藤, 1967; 鈴木, 2005
271.*Nuttallia ezonis* Kuroda & Habe, 1955 エゾイソシジミ
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 土田, 1998; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011

Family SOLENIDAE LAMARCK, 1809 マテガイ科

272.*Solen krusensternii* Schrenck, 1867 エゾマテ
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1983; 高丸, 1985; 土田, 1998; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011

Family PHARIDAE H. & A. ADAMS, 1858 ユキノアシタガイ科

273.*Siliqua alta* (Broderip & Sowerby, 1829) オオミゾガイ
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 波部, 1965; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1983; 高丸, 1985; 土田, 1998; 鈴木, 2005; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011

Family VENERIDAE RAFINESQUE, 1815 マルスダレガイ科

274.*Liocyma aniwana* Dall, 1907 アニワハマグリ
Habe, 1955
275.*Mercenaria stimpsoni* (Gould, 1861) ビノスガイ
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1983; 鈴木, 2005; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011
276.*Callithaca adamsi* (Reeve, 1863) エゾヌノメアサリ
木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 高丸, 1983; 土田, 1998; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009
277.*Protothaca euglypta* (Sowerby, 1914) ヌノメアサリ
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 鈴木, 2005; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
278.*Ruditapes philippinarum* (Adams & Reeve, 1850) アサリ
木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 五嶋, 1996; 土田, 1998; 鈴木, 2005; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
279.*Liocyma fluctuosum* (Gould, 1841) エゾハマグリ
鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 高丸, 1983; 高丸, 1985; 土田, 1998; 野別・山崎, 2011
280.*Callista brevisiphonata* (Carpenter, 1864) エゾワスレ
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 石山, 1974; 高丸, 1983; 高丸, 1985; 土田, 1998; 山崎・柏尾, 2011
281.*Saxidomus purpurata* (Sowerby, 1852) ウチムラサキ
鈴木, 1963; 横平・伊藤, 1967; 山崎・柏尾, 2011

Order MYOIDA GOLDFUSS, 1820 オオノガイ目
Family MYIDAE LAMARCK, 1809 オオノガイ科

282.*Mya truncata* Linnaeus, 1758 エゾオオノガイ
Habe, 1955
283.*Mya* (*Arenomya*) *arenaria oonogai* Makiyama, 1935 オオノガイ
木下, 1935; 鈴木, 1963; Nakao, 1978; 高丸, 1983; 高丸, 1985; 五嶋, 1996; 鈴木, 2005; 山崎・柏尾, 2011
284.*Mya* (*Arenomya*) *japonica* Jay, 1857 キタノオオノガイ
Habe, 1955; 横平・伊藤, 1967; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010
285.*Cryptomya busoensis* Yokoyama, 1922 ヒメマスオ
Habe, 1955; 鈴木, 1963

Family CORBULIDAE GRAY, 1824 クチベニガイ科

286.*Anisocorbula venusta* (Gould, 1861) クチベニデ
鈴木, 1963
287.*Potamocorbula amurensis* (Schrenck, 1867) ヌマコダキガイ
Habe, 1955

Family HIATELLIDAE GRAY, 1824 キヌマトイガイ科

288.*Hiatella orientalis* (Yokoyama, 1920) キヌマトイガイ
Habe, 1955; 横平・伊藤, 1967; 鈴木, 2005; 山崎・柏尾, 2011
289.*Panomya ampla* Dall, 1898 アクビチシマガイ
Habe, 1955
290.*Panomya arctica* (Lamarck, 1819) チシマガイ
鈴木, 1963; 土田, 1998
291.*Panopea japonica* A. Adams, 1850 ナミガイ
木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1983; 高丸, 1985; 土田, 1998; 鈴木, 2005

Family PHOLIDIDAE LAMARCK, 1809 ニオガイ科

292.*Barnea* (*Anchomasa*) *manilensis* (Philippi, 1847) ニオガイ
Habe, 1955
293.*Zirfaea subconstricta* (Yokoyama, 1924) ニオガイモドキ
Habe, 1955; 鈴木, 1963
294.*Penitella kamakurensis* (Yokoyama, 1924) カモメガイ
園田ら, 2010
295.*Penitella gabbii* (Tryon, 1863) オニカモメガイ
山崎・柏尾, 2011
= *Penitella chishimana* Habe, 1955 チシマカモメガイ
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967
296.*Nettastomella japonica* (Yokoyama, 1920) ヨコヤマスズガイ
Habe, 1955

Family TEREDINIDAE RAFINESQUE, 1815 フナクイムシ科

297.*Lyrodes pedicellatus* (Quatrefagus, 1845) ヤツフナクイムシ
Habe, 1955
298.*Bankia* (*Bankia*) *setacea* (Tryon, 1863) キタオオフナクイムシ
Habe, 1955

Order PHOLADOMYOIDA NEWELL, 1965 ウミタケモドキ目
Family LYONSIIDAE FISCHER, 1887 サザナミガイ科

299.*Lyonsia ventricosa* Gould, 1861 サザナミガイ
Habe, 1955; 横平・伊藤, 1967; 土田, 1998
300.*Agriodesma naviculoides* Dall, 1909 フトオビクイ
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011

Family PANDORIDAE RAFINESQUE, 1797 ネリガイ科

301.*Heteroclidus pulchellus* (Yokoyama, 1926) オシドリネリガイ
土田, 1998; 鈴木, 2005

Family MYOCHAMIDAE BRONN, 1862 ミツカドカタビラガイ科

302.*Myadora japonica* Habe, 1950 ヒロカタビラガイ
石山, 1974

Family LATERNULIDAE HEDLEY, 1918 オキナガイ科

303.*Laternula* (*Exolaternula*) *marilina* (Reeve, 1863) ソトオリガイ
木下, 1935

Family THRACIIDAE STOLICZKA, 1870 スエモノガイ科

304.*Thracia kakumana* Yokoyama, 1927 スエモノガイ
Habe, 1955; 横平・伊藤, 1967
305.*Thracia itoi* Habe, 1961 フクレスエモノガイ
鈴木, 1963

Family CUSPIDARIIDAE DALL, 1886 シャクシガイ科

306.*Cardiomya gouldiana* (Hinds, 1843) ヒメシャクシ
石山, 1974
307.*Cardiomya behringensis* Leach,1883 テングシャクシ
石川, 1969

3. 北海道東部から新種として記載された貝類

これまでに，北海道東部から，合計 93 種の海産貝類が新種として記録された。ここでは，1993 年までの間に記録された種類を肥後・後藤（1993）の目録を元に記述する。厚岸湾及びその沖合から記載された 21 種類については，太字で示す。

1. *Punctrella* (*Punctrella*) *curva* Golikov & Gulbin, 1977
模式産地: 千島
2. *Lepeta lima* Dall, 1918 スゲガサ
模式産地: 北海道根室
3. ***Margarites helicinus pilsbryi* (Kuroda & Habe, 1952) エゾシタダミ**
模式産地: 厚岸湾
4. *Minolia minima* Golikov, 1976
模式産地: 千島
5. *Eotricolis tristis* (Pilsbry, 1903) コムラサキバイ
模式産地: 北見利尻
6. *Valvata* (*Valvata*) *hokkaidoensis* Miyadi, 1935 ミズシタダミ
模式産地: 北海道 (塘路湖)
7. ***Stenotis uchidai* Habe, 1953 ウチダヘソカドタマキビ**
模式産地: 北海道厚岸湾
8. *Falsicingula kurilensis* (Pilsbry, 1905) ナタネツボ
模式産地: 千島国後島
9. *Neohaustator fortilirata* (Sowerby, 1914) エゾキリガイダマシ
模式産地: 北海道根室
10. ***Lamellaria* (*Lamellaria*) *uchidai* Habe, 1958 ウチダベッコウタマガイ**
模式産地: 北海道厚岸湾 (浅海)
11. *Bulbus flagilis elongates* Habe & Ito, 1965 ナガクリガイ
模式産地: 北海道根室
12. ***Euspira pila* (Pilsbry, 1911) タマツメタ**

模式産地: 北海道釧路, 厚岸

13. *Cryptonatica hirasei* (Pilsbry, 1905) ヒラセタマガイ
模式産地: 北海道釧路, 厚岸

14. *Furukawaia habei* Golikov & Gulbin, 1977
模式産地: 千島沖

15. *Laiochochlis sasamorii* Kuroda, 1943 ウミキセル
模式産地: 千島エトロフ島

16. *Trophonopsis scitula emphaticus* Habe & Ito, 1960 ナミジワツノオリイレ
模式産地: 千島, エトロフ島沙那

17. *Trophonopsis densilamellatus* Golikov & Gulbin, 1977 ヌノメツノオリイレ
模式産地: 千島

18. *Trophonopsis tegularis* Golikov & Gulbin, 1977 サメハダツノオリイレ
模式産地: 千島列島色丹島 (90 m, 岩礁)

19. *Boreotrophon paucicostata* Habe & Ito, 1956 テントウキツノオリイレ
模式産地: 千島, エトロフ島沙那

20. *Astyris kobai* Golikov & Kussakin, 1962 コバマツムシ
模式産地: 千島

21. *Pyrolofusus dexius japonicus* Habe, Ito & Tanji, 1980 ミギマキタテゴト
模式産地: 北海道釧路沖

22. *Mohnia sordid* Dall, 1907
模式産地: 根室沖 (300 fms.)

23. *Colus* (*Colus*) *esychus shikotanicus* (Golikov & Gulbin, 1977)
模式産地: 千島, シコタン島沖

24. *Colus* (*Colus*) *schantarica kurilensis* (Golikov & Gulbin, 1977)
模式産地: 千島列島

25. *Plicifusus hastarius* Tiba, 1980 ヤリノホシワバイ
模式産地: 釧路沖 (約 80~100 m)

26. *Plicifusus scissuratus* Dall, 1918 オオエゾシワバイ
模式産地: 北海道根室

27. *Plicifusus bambusus* Tiba, 1980
模式産地: 北海道紋別沖

28. *Plicifusus maehirai* Tiba, 1980
模式産地: 北海道釧路沖

29. *Ancistrolepis kawamurai* Habe & Ito, 1972 カワムラワダチバイ
模式産地: 網走沖大和堆 (約 500 m)

30. *Neancistrolepis glabra* Habe & Ito, 1973 スハダヤゲンバイ
模式産地: 網走沖 (網走大和堆, 約 500 m)

31. *Neptunea* (*Neptunea*) *laticostata* Golikov, 1962 カブラエゾボラ
模式産地: 千島列島

32. *Buccinum inclytum* Pilsbry, 1904 ヒモマキバイ
模式産地: 千島エトロフ島

33. *Buccinum rarusum* Tiba, 1984 マレエゾバイ
模式産地: 北海道釧路沖 (50 m)

34. *Buccinum rausicum* Shikama, 1952 ラウスバイ
模式産地: 北海道羅臼沖 (140 fms.)

35. *Buccinum chishimanum* Pilsbry, 1904 チシマバイ
模式産地: 千島エトロフ島

36. *Buccinum chishimanum nux* Habe & Ito, 1965 ウリザネバイ
模式産地: 千島列島

37. *Buccinum plectrium* Stimpson, 1865 オオウネエゾバイ
模式産地: 千島

38. *Buccinum maehirai* Tiba, 1980 マエヒラエゾバイ
模式産地: 北海道釧路沖 (約 300~400 m)
39. *Buccinum longigiliare* Tiba, 1983 イトカケエゾバイ
模式産地: 北海道釧路沖
40. *Buccinum osagawai* Habe & Ito, 1968 オサガワバイ
模式産地: 北海道羅臼沖 (170 fms.)
41. *Buccinum epistomium* Dall, 1907 フジイロバイ
模式産地: 千島列島新知床島沖 (229 fms. アルバトロス St. 4804)
42. *Buccinum mizutanii* Habe & Ito, 1970 ミズタニバイ
模式産地: 北海道知床半島 (オホーツク海側, 約 500 m)
43. *Buccinum kinukatsugi* Habe & Ito, 1968 キヌカツギバイ
模式産地: 北海道羅臼沖 (140 fms.)
44. *Buccinum kushiroensis* Habe & Ito, 1976 クシロエゾバイ
模式産地: 北海道釧路沖 (300 m)
45. *Buccinum crenatum* Golikov & Gulbin, 1977
模式産地: 千島
46. *Buccinum eleganum* Golikov & Gulbin, 1977
模式産地: 千島
47. *Buccinum tenuisulcatum* Golikov & Gulbin, 1977
模式産地: 千島
48. *Buccinum tunuicatum* Golikov & Gulbin, 1977
模式産地: 千島
49. *Reticubuccinum shiretokoensis* (Habe & Ito, 1976) シレトコバイ
模式産地: 北海道知床半島沖 (500 m)
50. *Volutharpa ainos* Kuroda & Kinoshita, 1956 クマモスソガイ
模式産地: 北海道根室 (目梨郡), 羅臼沖 (120~130 fms.)
51. *Rhodopetoma akkeshiensis* Habe, 1958 アッケシシャジク
模式産地: 北海道厚岸湾
52. *Obesotoma uchidai* Habe, 1958 ウチダフタマンジ
模式産地: 北海道厚岸湾
53. *Oenopota okudai* Habe, 1958 オクダフタマンジ
模式産地: 北海道厚岸湾
54. *Oenopota hanazakiensis* Habe, 1958 ハナザキフタマンジ
模式産地: 北海道花咲港
55. *Menestho akkeshiensis* Habe, 1958 アッケシヒサゴクチキレ
模式産地: 北海道厚岸湾
56. *Cylichna grisea* Smith, 1875
模式産地: 北海道厚岸沖 (48 fms.)
57. *Cylichna pertenuis* Smith, 1875
模式産地: 北海道厚岸沖
58. *Ercolania akkeshiensis* Baba, 1940
模式産地: 北海道, 厚岸 (大黒島)
59. *Acanthodoris uchidai* Baba, 1940 ウチダウミウシ
模式産地: 北海道厚岸湾
60. *Dirona albolineata* Mac Farland in Cockerell & Eliot, 1905
模式産地: 北海道厚岸
61. *Carychium sibiricum* Westerlund, 1897 エゾケシガイ
模式産地: 北海道春取
62. *Gyraulus infirmus* (Mori, 1938) ガドマルヒラマキガイ
模式産地: 千島
63. *Vertigo eogia eogia* Pilsbry, 1919 ナタネキバサナギガイ

模式産地: 北海道 (厚岸及び釧路)

64. *Vertigo kushiroensis* Pilsbry & Hirase, 1905 クシロキバサナギガイ
模式産地: 北海道 (厚岸: 釧路)

65. *Punctum apertum* Pilsbry & Hirase, 1904 オオベソナタネ
模式産地: 北海道根室

66. *Punctum boreale* Pilsbry & Hirase, 1904 エゾナタネ
模式産地: 北海道 (釧路: 厚岸)

67. *Parakaliella affinis* (Pilsbry & Hirase, 1905) エゾキビ
模式産地: 釧路春取 (湖畔) 及び厚岸 (北海道)

68. *Pristilima japonica* Pilsbry & Hirase, 1903 エゾエンザ
模式産地: 北海道東部釧路市遠野 (Toya)

69. *Retinella radiatula radiata* (Pilsbry & Hirase, 1904) コハクモドキ
模式産地: 北海道東部釧路 Toya (遠野)

70. *Striatura chishimana* (Pilsbry & Hirase, 1904) チシマコハクガイ
模式産地: 千島国後

71. *Acilana paramushiraensis* (Savizty, 1972)
模式産地: 千島 (パラムシール) (f.)

72. *Mantacutona kurilensis* (Scarlato & Ivanova, 1974) チシマフタバガイ
模式産地: 千島

73. *Cyclocardia isaotakii* (Tiba, 1972) イサオマルフミガイ
模式産地: 北海道根室近海 (100 m±)

74. *Tridonta* (*Toridonta*) *derjugini* Filatova, 1957
模式産地: 南千島

75. *Arctopratulum ezoense* (Takeda, 1953) エゾキンギョ
模式産地: 北海道白糠郡白糠町茶路川 (f. 漸新世)

76. *Nuttallia ezonis* Kuroda & Habe, 1955 エゾイソシジミ
模式産地: 北海道根室 (5 m, 砂泥)

77. *Pisidium* (*Pisidium*) *baicalense etorohuense* Mori, 1935 エトロフマメシジミ
模式産地: 千島エトロフ島トロ沼

78. *Pisidium* (*Pisidium*) *kurodai* Mori, 1938 チヂミマメシジミ
模式産地: 千島エトロフ島

79. *Pisidium* (*Pisidium*) *pondelisum* Stelfox, 1918 アツマメシジミ
模式産地: 千島エトロフ島

80. *Pisidium* (*Pisidium*) *uenoi* Mori, 1938 ウエノマメシジミ
模式産地: 千島エトロフ島

81. *Pisidium* (*Pisidium*) *humeriforme* Stelfox, 1918 ハリガタマメシジミ
模式産地: 千島エトロフ島

82. *Pisidium* (*Pisidium*) *pulchellum* Jenyns, 1833 ウツクシマメシジミ
模式産地: 千島エトロフ島

83. *Pisidium* (*Pisidium*) *pulchellum kunasiriense* Mori, 1938 クナジリマメシジミ
模式産地: 国後島

84. *Pisidium* (*Pisidium*) *cinereum* Alder, 1838 ハイイロマメシジミ
模式産地: 釧路阿寒湖

85. *Pisidium* (*Pisidium*) *japonicum* Pilsbry & Hirase, 1908 マメシジミ
模式産地: 釧路厚岸

86. *Pisidium* (*Neopisidium*) *conventum akkesiense* Mori, 1938 アツケシマメシジミ
模式産地: 北海道厚岸

87. *Pisidium* (*Cyclocalyx*) *subtruncatum altum* Mori, 1938 ハナタカマメシジミ
模式産地: 北海道阿寒湖

88. *Sphaerium* (*Musculium*) *miyadii* Mori, 1933 エゾドブシジミ

模式産地: 千島エトロフ島

89. *Liocyma viridis* Dall, 1871
模式産地: 千島

90. *Cyrtodaria kurriana* Dunker, 1862 キヌカツギマテ
模式産地: 千島

91. *Penitella chishimana* (Habe, 1955) チシマカモメガイ
模式産地: 千島幌莚島

92. *Fissidentalium* (*Fissientalium*) *laterischismum* Shikama & Habe, 1963 オホーツクツノガイ
模式産地: 北海道紋別沖 (約 150 m)

93. *Siphonodentalium okudai* Habe, 1953 キタノクチキレツノガイ
模式産地: 北海道厚岸湾

引用文献

馬場菊太郎. 1957. 厚岸と浅虫 (Ⅱ). 採集と飼育, 19(11): 323-326.

馬場菊太郎. 1968. オオバンハナガサウミウシ (新称) 北海道尻岸内沖に産す. 採集と飼育, 30(8): 257-258.

Baba, K. 1987. Anatomical Review of *Coryphella* from Akkeshi Bay. *VENUS* (*Japanese Journal of Malacology*), 46(3): 151-156.

五嶋聖治. 1996. 厚岸町厚岸湖. *WWF Japan Science Report*, 3: 86.

Habe, T. 1955. Fauna of Akkeshi Bay XXI, Pelecypoda and Scaphopoda. *Publications from the Akkeshi Marine Biological Station*, 4: 1-31, pls. 1-7.

Habe, T. 1958. Fauna of Akkeshi Bay XXV, Gastropoda. *Publications from the Akkeshi Marine Biological Station*, 8: 1-39, pls. 1-5.

波部忠重. 1965. 日本及び近接海域のマテガイ科. *VENUS* (*Japanese Journal of Malacology*), 23(4): 188-197.

波部忠重・伊藤　潔. 1965. 北太平洋産貝類の新属新種. *VENUS* (*Japanese Journal of Malacology*), 24(1): 16-45.

波部忠重・伊藤　潔. 1968. 北海道羅臼産のエゾバイ科の種類. *VENUS* (*Japanese Journal of Malacology*), 27(1): 1-9.

波部忠重・伊藤　潔. 1970. 北海道産モロハバイ属の新種. *VENUS* (*Japanese Journal of Malacology*), 29(4): 107-109.

波部忠重・伊藤　潔. 1971. オホツク海産ヒメナガバイの新亜種. *VENUS* (*Japanese Journal of Malacology*), 31(3): 113-114.

波部忠重・伊藤　潔. 1980. モスソガイ属の種類. *VENUS* (*Japanese Journal of Malacology*), 39(3): 1-6.

波部忠重・伊藤　潔・丹治豊明. 1980. ミギマキタテゴトナシボラに就いて. *VENUS* (*Japanese Journal of Malacology*), 39(1): 7-13.

肥後俊一・後藤芳央. 1993. 日本及び周辺地域産軟体動物総目録. 5＋3＋22＋693＋13＋148 pp. エル貝類出版局, 大阪.

石川政治. 1969. 淡青丸で採集した北海道厚岸沖の貝類について. *VENUS* (*Japanese Journal of Malacology*), 28(1): 47-53.

石山尚珍. 1974. 襟裳岬沖と八戸沖の貝類とその生息環境について. 地質調査所月報, 25(7): 37-45.

伊藤勝千代・波部忠重. 1965. 日本海産のエゾバイ属の 1 新種. *VENUS* (*Japanese Journal of Malacology*), 23(4): 182-184.

伊藤　潔. 1963. 北海道のオホーツク海沿岸に産する貝類. 生物教材の開拓, 3: 148-155.

伊藤　潔・波部忠重. 1980. オホツク海北部産新属新種ワクイバイ (新称). *VENUS* (*Japanese Journal of Malacology*), 38(4): 219-222.

木下虎一郎. 1935. 北海道猿澗湖の貝類. *VENUS* (*Japanese Journal of Malacology*), 5(1): 34-38.

黒田徳米. 1936. 日本北區産エゾバイ科の目録. *VENUS* (*Japanese Journal of Malacology*), 6(3): 34-38.

黒田徳米・木下虎一郎. 1951. 北海道産貝類目録. 北海道区水産研究所研究報告, 2: 1–40.

水島敏博・富田恭司. 1984. 野付湾におけるアマモ葉上の貝類-Ⅱ. 分布と出現個体数の季節変化. *VENUS* (*Japanese Journal of Malacology*), 43(4): 339-346.

Nakao, S. 1978. Distribution of Benthos in Relation to the Sulfide-content in the Bottom Sediments of Mixo-polyhaline Lake Notoro, Hokkaido. *Bulletin of the faculty of fisheries*, 29(2): 199-212.

中野智之・小澤智生. 2006. エゾノハナガサとシロガサガイの生息環境. ちりぼたん (日本貝類学会研究連絡誌), 37(3): 109-111.

延原尊美. 1999. 釧路沖より採集されたヒラセギンエビス. ちりぼたん (日本貝類学会研究連絡誌), 30(3): 65-67.

野別貴博・山崎友資. 2011. 色丹島で確認された貝類. 知床博物館研究報告, 32: 1-8.

大垣俊一. 1983. 北海道におけるタマキビガイ科の分布 -特に厚岸湾における分布の内湾外洋系列について-. 南紀生物, 25(2): 173-180.

Okutani, T. & Saito, H. 1987. An Occurrence of *Amicula gurjanovae* Yakovleva, 1952 (Polyplacophora: Mopaliidae) from Hokkaido with an Extended Description. *VENUS* (*Japanese Journal of Malacology*), 46(3): 166-172.

Saito, H. 1995. The Shallow-water Chiton Fauna of Eastern Hokkaido, Japan. *National Science Museum*, 27: 93-104.

Shikama, T. 1957. On Some Gastropoda from Nemuro Strait, Eastern Hokkaido. *Science Reports of the Yokohama National University. Section II, Biological and Geological Sciences*, 6: 31-36.

園田　武・千葉　晋・五嶋聖治・山崎友資・富川　光・野別貴博. 2009. 無脊椎動物相. In: 平成 19 (2007) 年度知床半島沿岸における浅海域生物相調査業務報告書, pp. 31-46. 環境省 北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所.

園田　武・千葉　晋・五嶋聖治・山崎友資・布村　昇・駒井智幸・富川　光・伊藤　敦・野別貴博. 2009. 無脊椎動物相. In: 平成 20 (2008) 年度知床半島沿岸における浅海域生物相調査業務報告書, pp. 27-60. 環境省 北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所.

園田　武・千葉　晋・五嶋聖治・山崎友資・布村　昇・駒井智幸・富川　光・伊藤　敦・野別貴博. 2010. 無脊椎動物相. In: 平成 21 (2009) 年度知床世界自然遺産地域生態系モニタリング調査業務報告書, pp. 489-530. 環境省 北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所.

鈴木明彦. 2005. 北海道オホーツク海沿岸における打ち上げ貝類. 漂着物学会誌, 3: 7-11.

鈴木淳志. 2005. オホーツク海ウトロ沿岸での裸殻翼足類タルダカハダカカメガイ *Cliopsis krohnii* の採集記録. ちりぼたん (日本貝類学会研究連絡誌), 35(4): 130-131.

鈴木淳志・宮野裕希・馬渡恵子. 2005. オホーツク海網走周辺海域で採集される裸殻翼足類ハダカカメガイ (*Clione limacine* Phipps) の生物学的特徴. ちりぼたん (日本貝類学会研究連絡誌), 36(1): 12-17.

高丸禮好. 1983. 浜中湾および琵琶瀬湾におけるホッキガイ漁場の大型底生動物群集. 北水試月報, 40: 157-166.

高丸禮好. 1985. ホッキガイと砂浜の貝類達. 北水試だより, 53: 13-15.

富田恭司・水島敏博. 1984. 野付湾におけるアマモ葉上の貝類-Ⅰ. 出現種と主要 3 種の成長. *VENUS* (*Japanese Journal of Malacology*), 43(4): 331-338.

Toyohara, T, Nakaoka, M. & Tsuchida, E. 2001. Population Dynamics and Life History Traits of *Siphonacmea oblongata* (Yokoyama) on Seagrass Leaves in Otsuchi Bay, North-Eastern Japan (Siphonariidae, Pulmonata). *VENUS* (*Japanese Journal of Malacology*), 60(1-2): 27-36.

土田英治. 1998. 根室湾から採集された上部浅海系の貝類の特性. 北海道区水産研究報告, 62: 83-105.

山崎友資・柏尾　翔. 2011. 第 3 章 厚岸臨海実験所付近の貝類. In: 山崎友資 (編), 北方圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所付近の貝類. pp. 33-59. 函館.

横平　弘. 1967. 根室沿岸の貝類. 生物教材, 7: 54-57.

横平　弘・伊藤　潔. 1967. 釧路沿岸の貝類. 生物教材, 7: 46-51.

第３章　　厚岸臨海実験所付近の貝類

1. 調査場所

調査場所は厚岸臨海実験所の南側の潮間帯及び，大黒島の東側潮間帯で行った。厚岸臨海実験所の南側の潮間帯は，大きさ約 5 から 10 cm 程度の石で敷き詰められた海岸や，約 50 cm 以上石から構成される転石帯，露出した岩盤，砂礫の海岸から構成される。湾内という地理的特徴から，比較的内湾的環境と言える。一方，大黒島における調査場所は，実験所付近と海岸の地形は似ているが，外海に面し，波当たりが強い。大黒島の南東部の海岸線は，断崖絶壁の岩場で，崩落が目立つ。

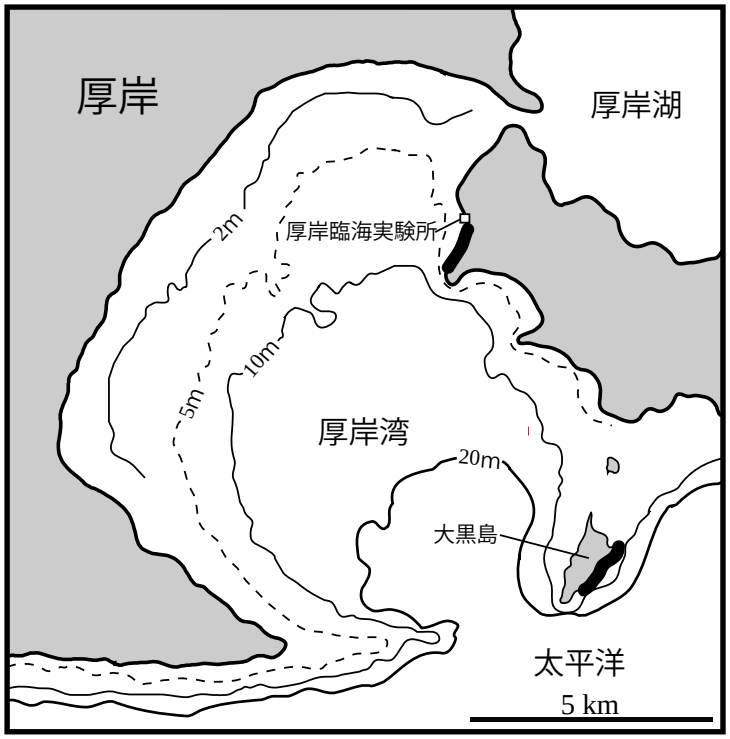


図 3-1 厚岸臨海実験所と，調査箇所 (黒い太線) を示す。

調査は 2009 年 7 月 6 日～10 日, 2010 年 12 月 4 日～6 日の合計 8 日間行った。調査の時間帯は大潮に合わせて行ったため, 2009 年度は日中, 2010 年度は夜間に行った。潮間帯での調査の他，厚岸湾の沖合水深 130 m 付近までドレッチによる調査も行ったが，今回は潮間帯から採集された種類に限定した。

2. 厚岸臨海実験所付近に生息する貝類

多板綱・新ヒザラガイ目 POLYPLACOPHORA・Neoloricata

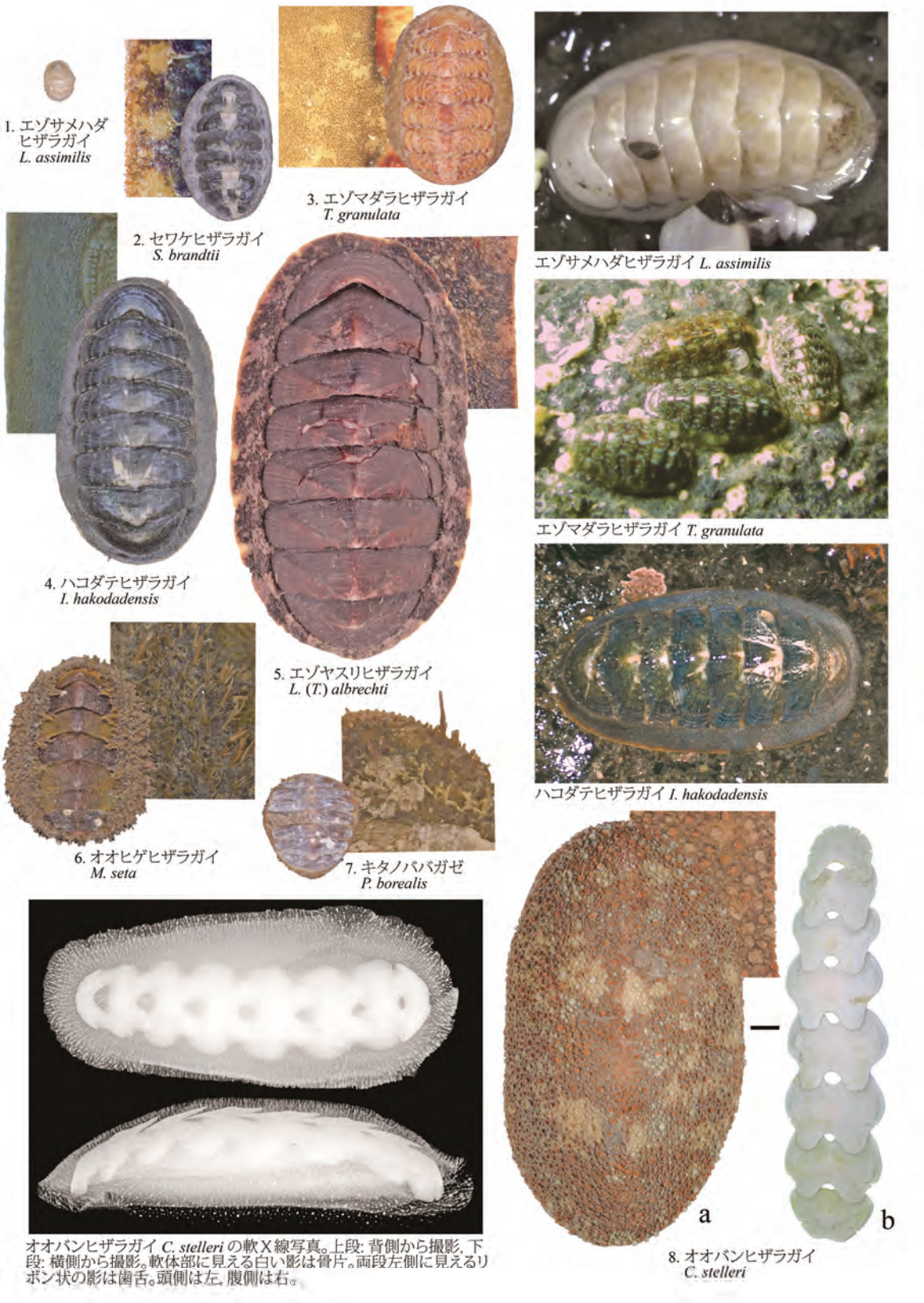


上段: オオヒゲヒザラガイ *Mopalia seta* Yakovleva, 1952
中段: エゾヤスリヒザラガイ *Lepidozona* (*Tripoplax*) *albrechtii* (Schrenck, 1861)
下段: キタノババガゼ *Placiphorella borealis* Berry, 1917
キタノババガゼは肉食性で，前半部を持ち上げて獲物を待ち伏せる (下段左)。

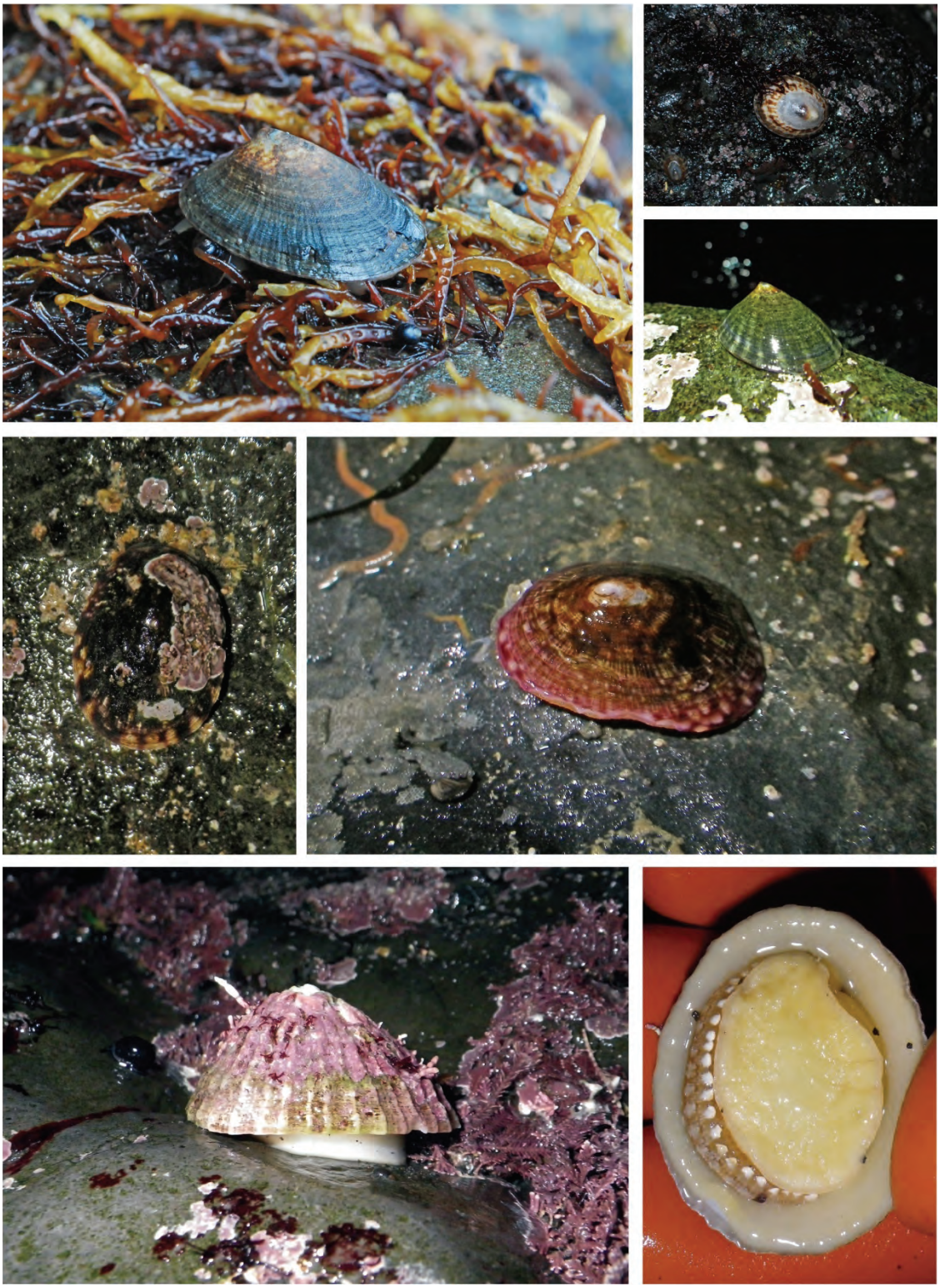


オオバンヒザラガイ *Cryptochiton stelleri* (Middendorff, 1846)
本種は，転石帯に多く生息しており，大時化の後に海岸に多く打ち上げられる。大潮時には海水から露出し，基質から半分程度剥がれ，オレンジ色の足が露出するため目立つ。捕食者として鳥類が挙げられる。貝殻は軟体部に埋もれているため，外部から見ることはできない。

多板綱・新ヒザラガイ目 POLYPLACOPHORA・Neoloricata



オオバンヒザラガイ *C. stelleri* の軟X線写真。上段: 背側から撮影, 下段: 横側から撮影。軟体部に見える白い影は骨片。両段左側に見えるリボン状の影は歯舌。頭側は左, 腹側は右。



上段: サラサシロガイ *Lottia* sp
中段: ベッコウシロガイ *Tectura emydia* (Dall, 1914)
下段: ユキノカサガイ *Niveotectura pallida* (Gould, 1859)
ユキノカサガイの外套膜と足の間隙に多毛類の一種であるカクレウロコムシが棲む (下段右)。

腹足綱・カサガイ目 / 古腹足目 PROSOBRANCHIA・Patellogastropoda / Vetigastropoda



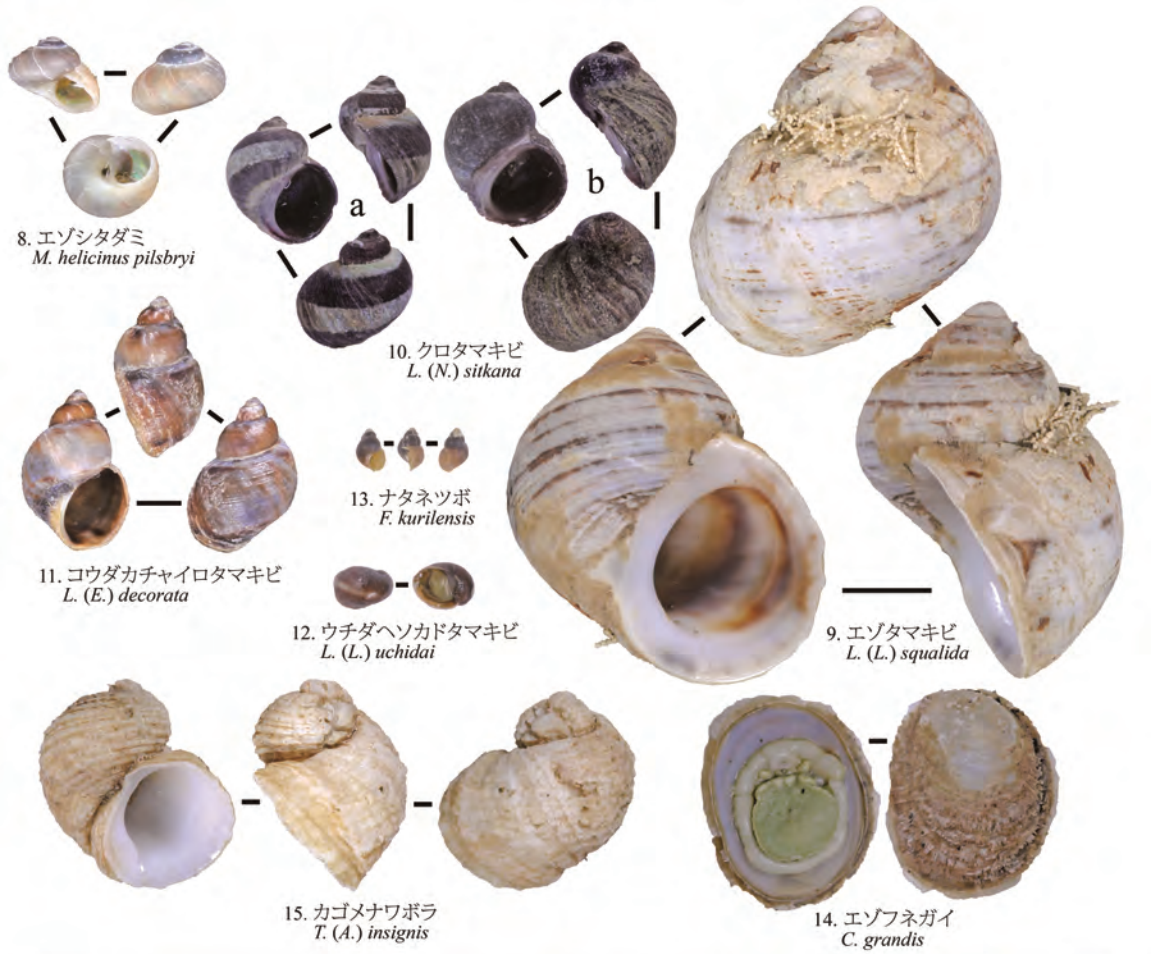


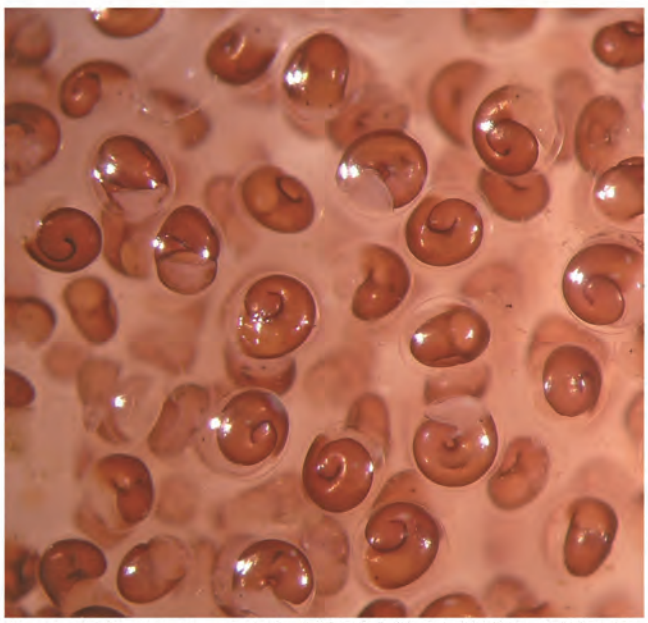
上段: エゾシタダミ *Margarites* (*Margarites*) *helicinus pilsbryi* (Kuroda & Habe, 1952)
中段: クロタマキビ *Littorina* (*Neritrema*) *sitkana* Philippi, 1846
下段: コウダカチャイロタマキビ *Lacuna* (*Epheria*) *decorata* (A. Adams, 1861)
エゾシタダミの殻色は変異に富む。岩礁の窪みに集中して分布している場合が多い。

腹足綱・盤足目 PROSOBRANCHIA・Discopoda



上段: エゾタマキビ *Littorina* (*Littorina*) *squalida* Broderip & Sowerby, 1829
中段: エゾフネガイ *Crepidula grandis* Middendorff, 1849
下段: カゴメナワボラ *Trichotropis* (*Ariadnaria*) *insignis* Middendorff, 1849
潮間帯に生息するエゾフネガイの殻の膨らみは弱い。ホタテガイに付着している個体の膨らみは強い。



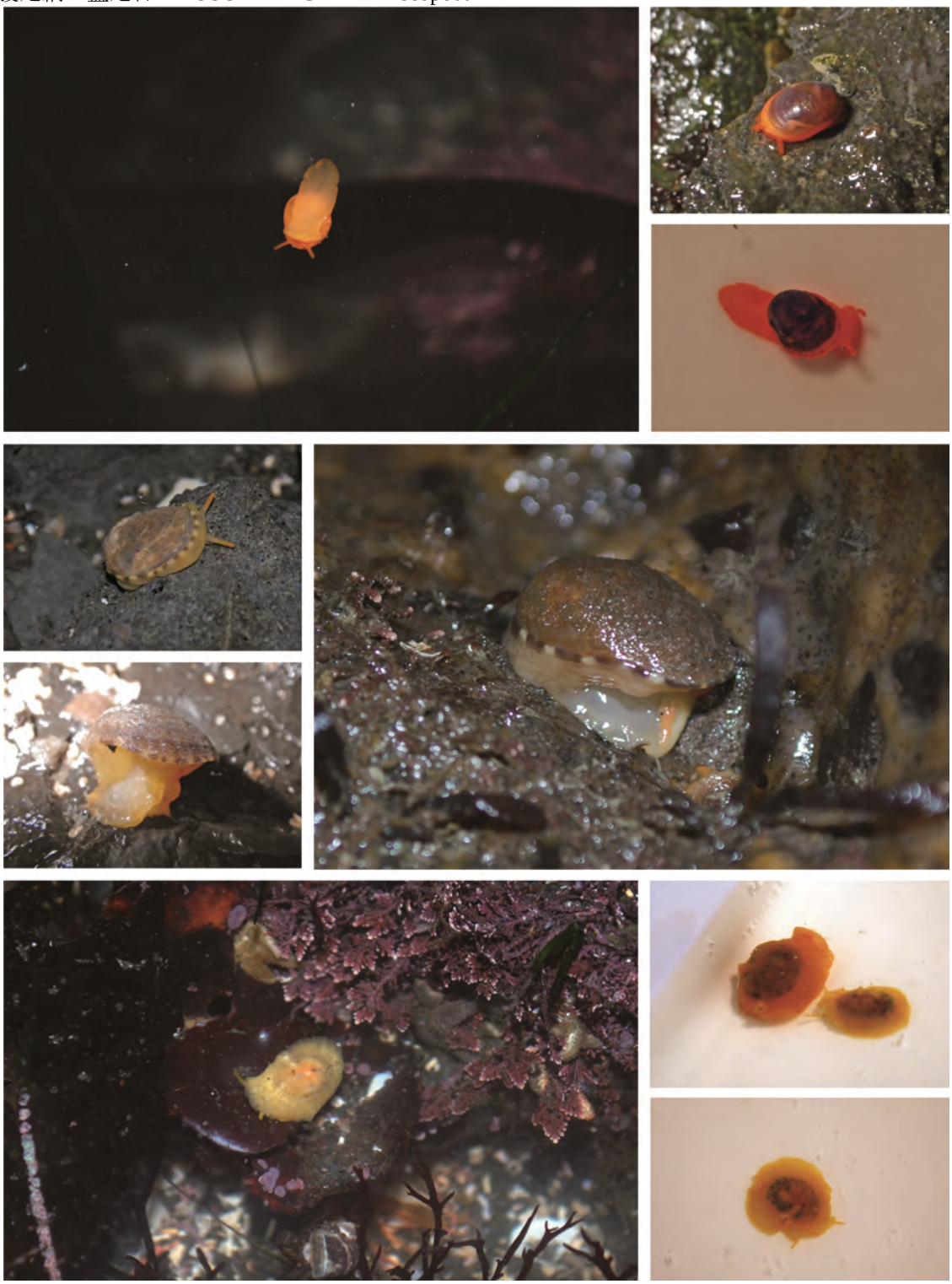


クロタマキビ*L. (N.) sitkana*の卵塊。本種の発生様式は直達型で，卵は転石の下側や，岩礁帯の窪みへ産み付ける。産卵は年に1度で，寿命は約2年。

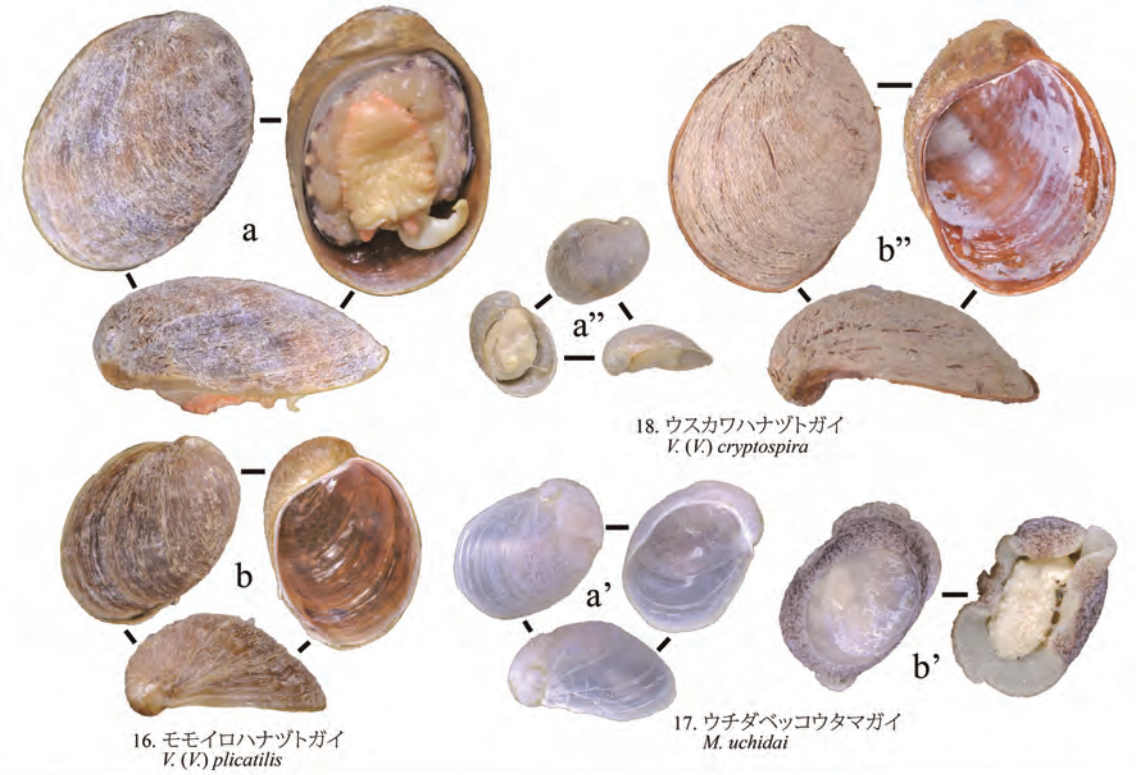


ウチダヘソカドタマキビ*L. (L.) uchidai*。スガモの表面に多く生息している。発生様式は直達式。

腹足綱・盤足目 PROSOBRANCHIA・Discopoda



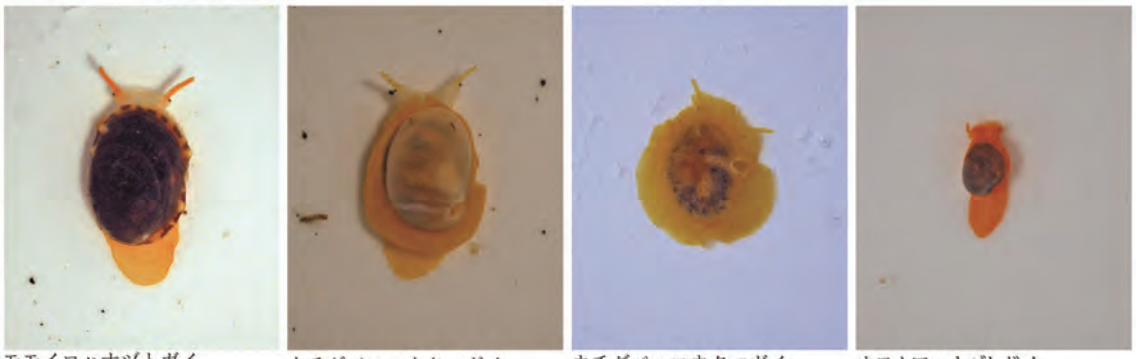
上段: ウスカワハナヅトガイ *Velutina* (*Velutella*) *cryptospira* Middendorff, 1849
中段: モモイロハナヅトガイ *Velutina* (*Velutella*) *plicatilis* (Müller, 1774)
下段: ウチダベッコウタマガイ *Marsenina uchidai* (Habe, 1958)
ハナヅトガイ類は，足を水面に広げて，水面を這うように移動する場合がある (写真上段左)。



18. ウスカワハナヅトガイ
V. (V.) cryptospira

16. モモイロハナヅトガイ
V. (V.) plicatilis

17. ウチダベッコウタマガイ
M. uchidai

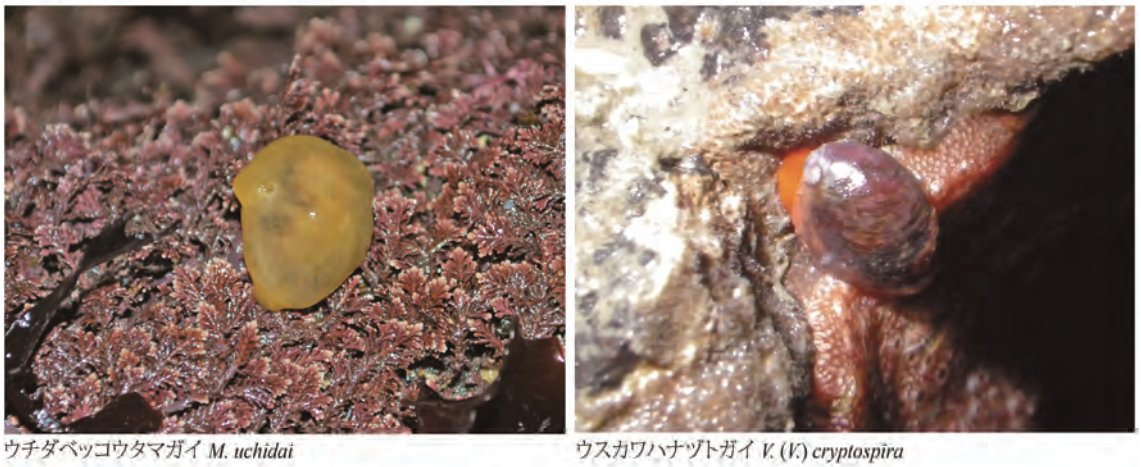


モモイロハナヅトガイ
V. (V.) plicatilis

ウチダベッコウタマガイ
M. uchidai

ウチダベッコウタマガイ
M. uchidai

ウスカワハナヅトガイ
V. (V.) cryptospira



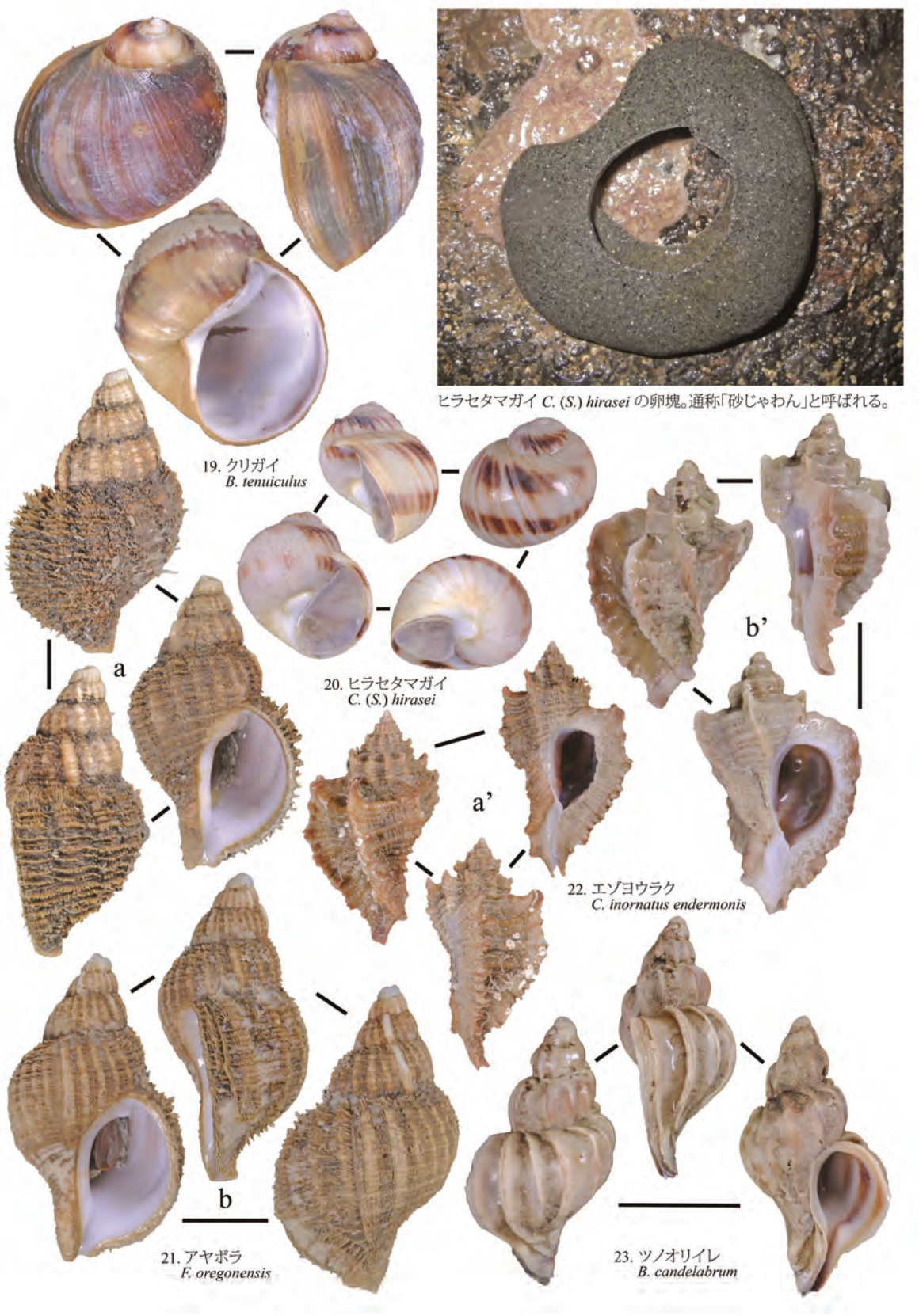
ウチダベッコウタマガイ *M. uchidai*

ウスカワハナヅトガイ *V. (V.) cryptospira*

腹足綱・盤足目 PROSOBRANCHIA・Discopoda



上段: ヒラセタマガイ *Cryptonatica* (*Sulconatica*) *hirasei* (Pilsbry, 1905)
中段: クリガイ *Bulbus tenuiculus* (Sowerby, 1915)
下段: アヤボラ *Fusitriton oregonensis* (Redfield, 1846)
ヒラセタマガイは，足を水面に広げて，水面を這うように移動する場合がある (写真上段右下)。


ヒラセタマガイ C. (S.) hirasei の卵塊。通称「砂じゃわん」と呼ばれる。
19. クリガイ
B. tenuiculus
20. ヒラセタマガイ
C. (S.) hirasei
22. エゾヨウラク
C. inornatus endermonis
21. アヤボラ
F. oregonensis
23. ツノオリイレ
B. candelabrum
a
a'
b
b'

腹足綱・新腹足目 PROSOBRANCHIA・Neogastropoda



上段: エゾヨウラク *Ceratostoma inornatus endermonis* (Smith, 1875)
中段: ツノオリイレ *Boreotrophon candelabrum* (Reeve, 1847)
下段: チヂミボラ *Nucella lima* (Gmelin, 1791)
この三種は肉食性貝類で，二枚貝などの他の貝に穴を開けて，軟体部を捕食する (写真下段右下)。

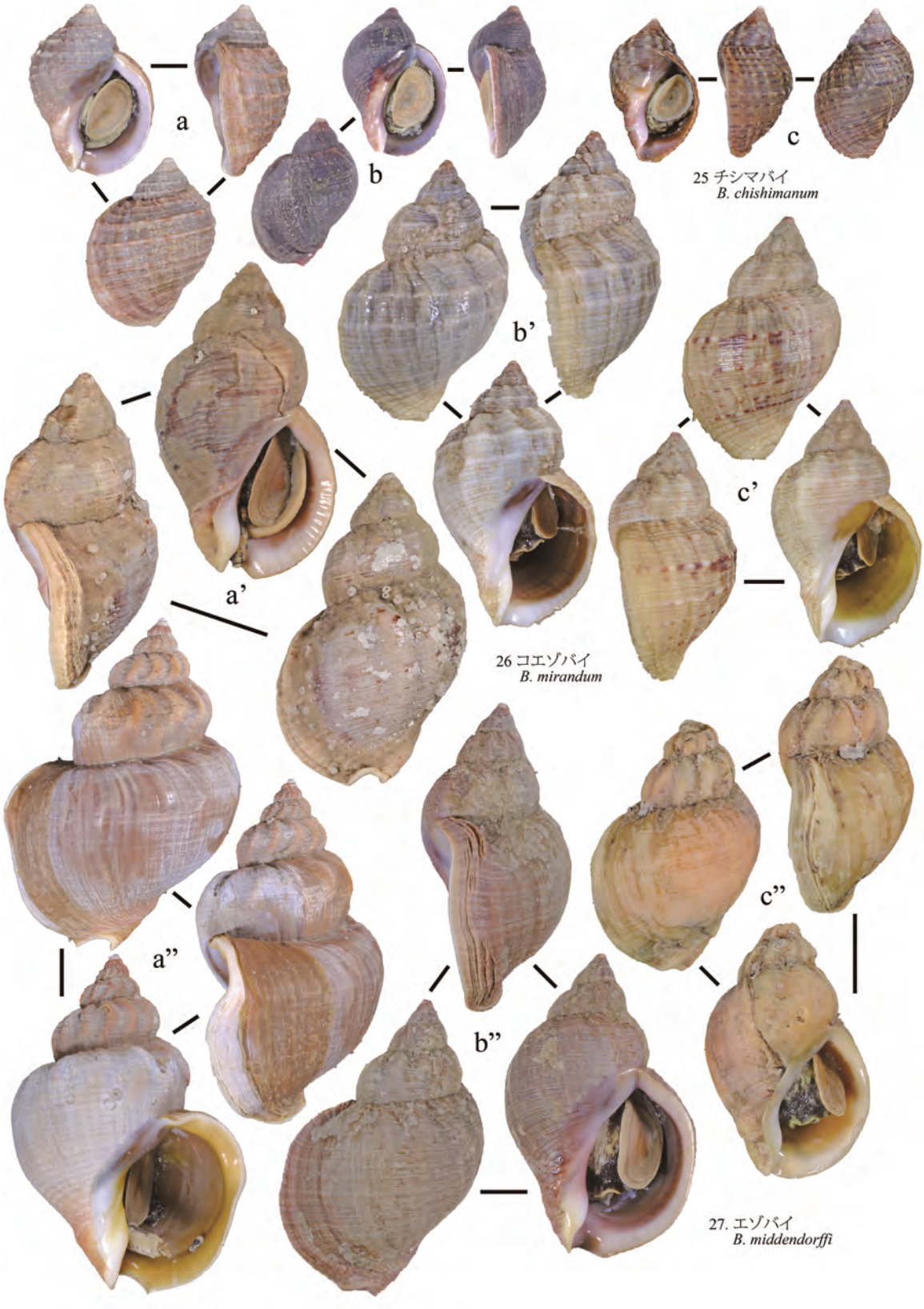


24. チヂミボラ
N. lima

腹足綱・新腹足目 PROSOBRANCHIA・Neogastropoda



上段: エゾバイ *Buccinum middendorffi* Verkruzen, 1882
中段: コエゾバイ *Buccinum mirandum* Smith, 1875
下段: チシマバイ *Buccinum chishimanum* Pilsbry, 1904
エゾバイとコエゾバイは食用となり，市場に並ぶ場合がある。これらの可食部は大きくて旨い。


a
b
c
25 チシマバイ
B. chishimanum
b'
a'
c'
26 コエゾバイ
B. mirandum
a"
b"
c"
27. エゾバイ
B. middendorffi

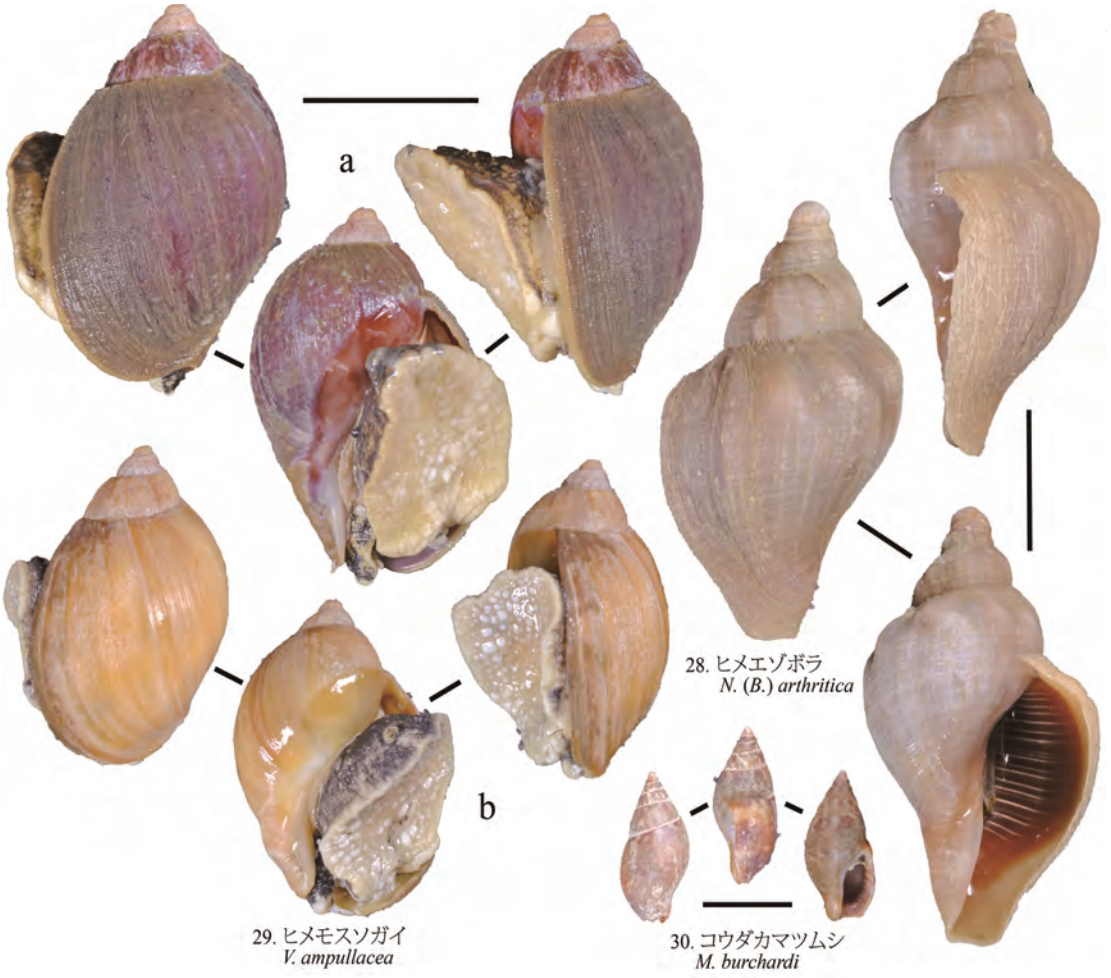
腹足綱・新腹足目 PROSOBRANCHIA・Neogastropoda

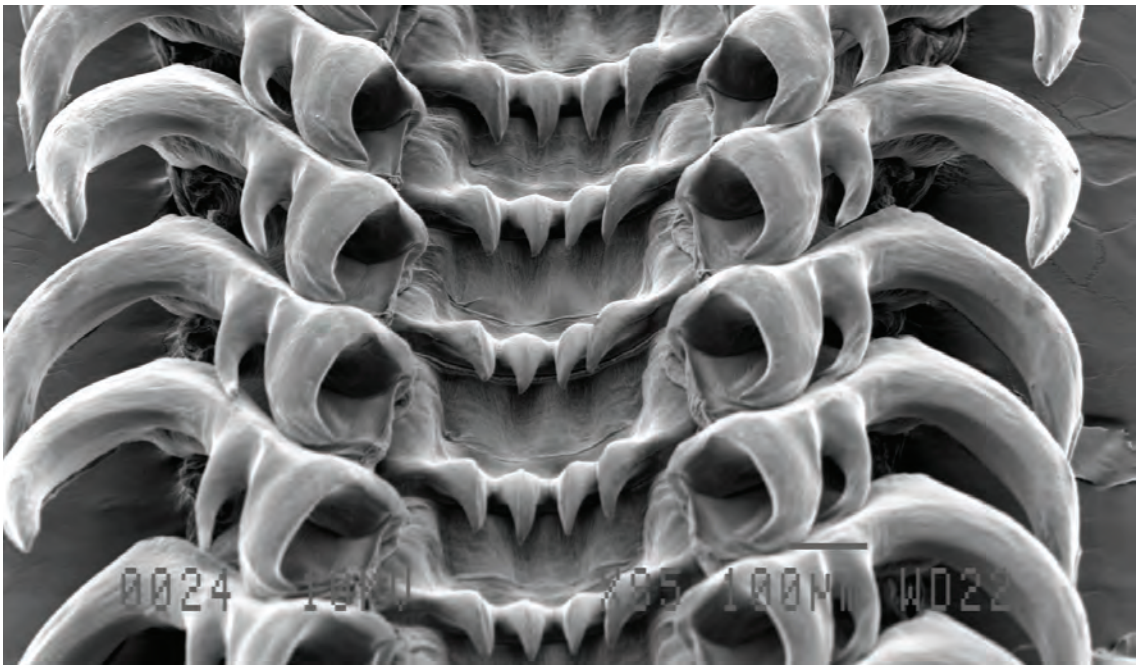






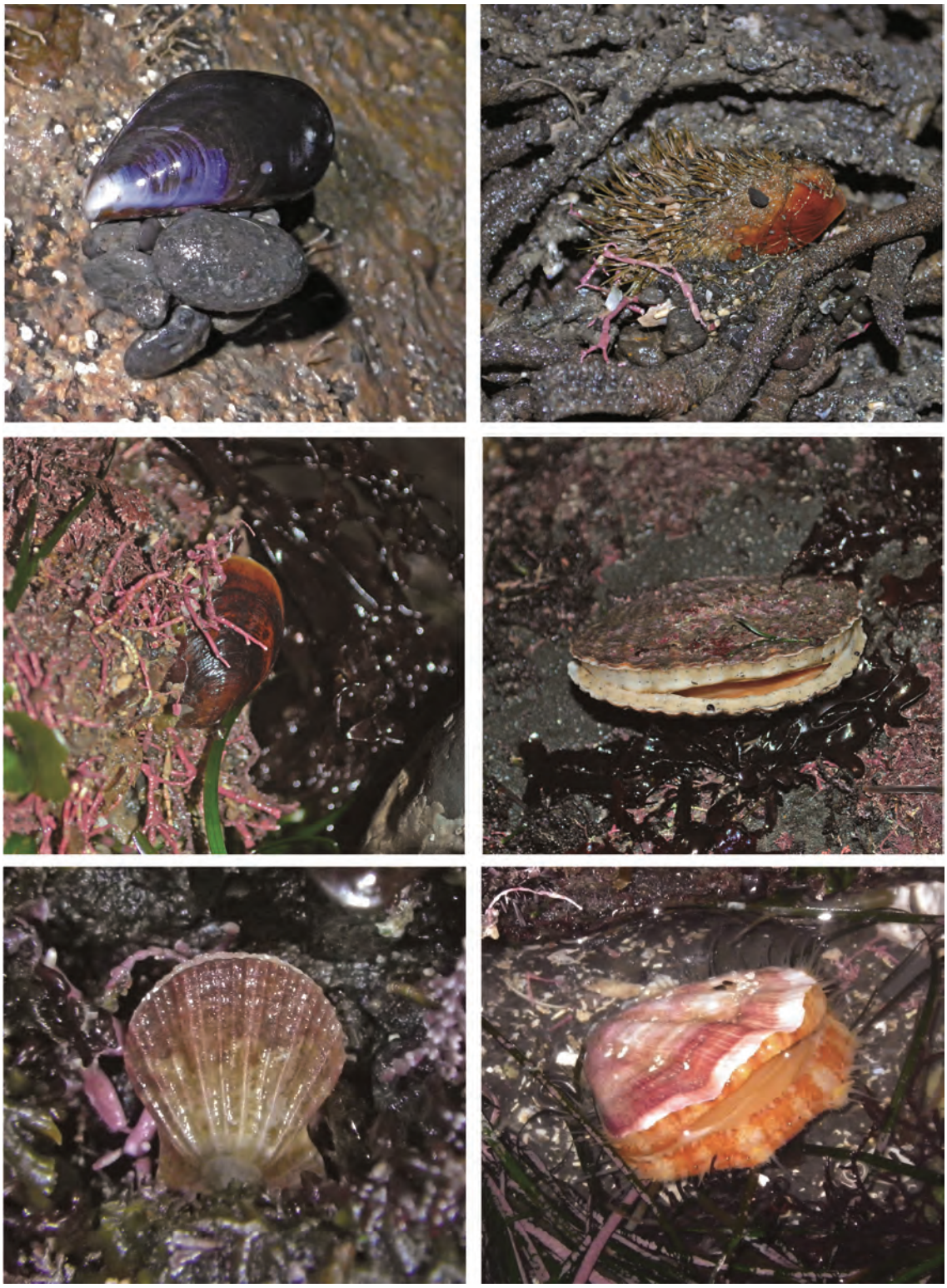
上段: ヒメモスソガイ *Volutharpa ampullacea* (Middendorff, 1848)
下段: コウダカマツムシ *Mitrella burchardi* (Dunker, 1877)
ヒメモスソガイの蓋は足の先端に付いており，大きさは小さい。軟体部全体は貝殻に納まらず，常に貝殻の外へ露出している。近縁種のモスソガイは食用として市場へ出荷される。



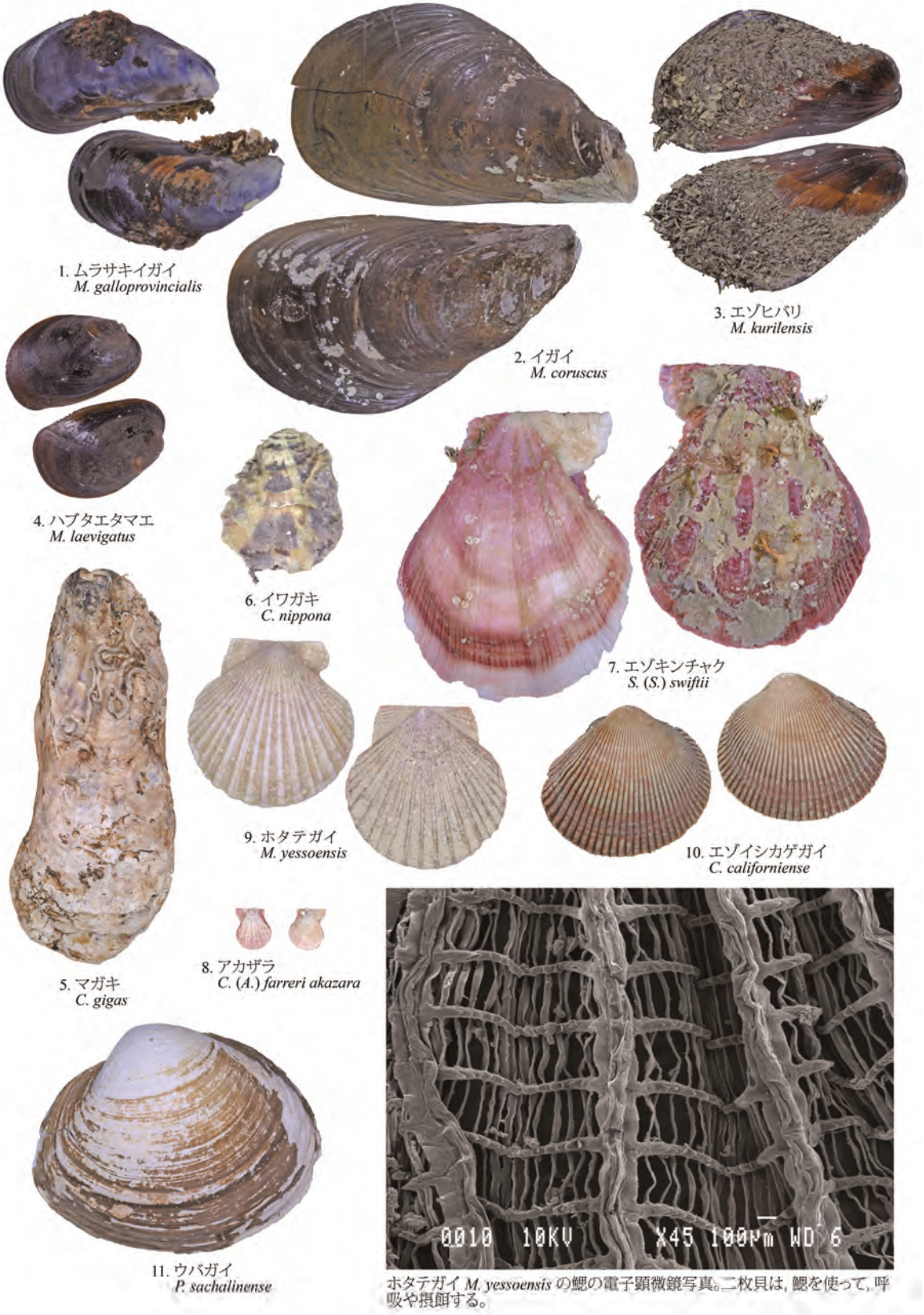


ヒメエゾボラ *N. (B.) arthritica* の歯舌の電子顕微鏡の写真。巻貝は歯舌というキチン質のリボン状の器官を使って，餌を食べる。歯舌は使い捨てで，摩耗した歯舌は捨てられ，新しい歯舌が後ろから押し出される。

二枚貝綱・イガイ目 / カキ目 BIVALVIA・Mytiloida / Ostreoida



上段左: ムラサキイガイ *Mytilus galloprovincialis* Lamarck, 1819, **右**: エゾヒバリガイ *Modiolus kurilensis* Bernard, 1983, **中段左**: ハブタエタマエ *Musculus laevigatus* (Gray, 1824), **右**: ホタテガイ *Mizuhopecten yessoensis* (Jay, 1857), **下段左**: アカザラ *Chlamys* (*Azumapecten*) *farreri akazara* (Kuroda, 1932), **左**: エゾキンチャク *Swiftopecten* (*Swiftopecten*) *swiftii* (Bernardi, 1858)

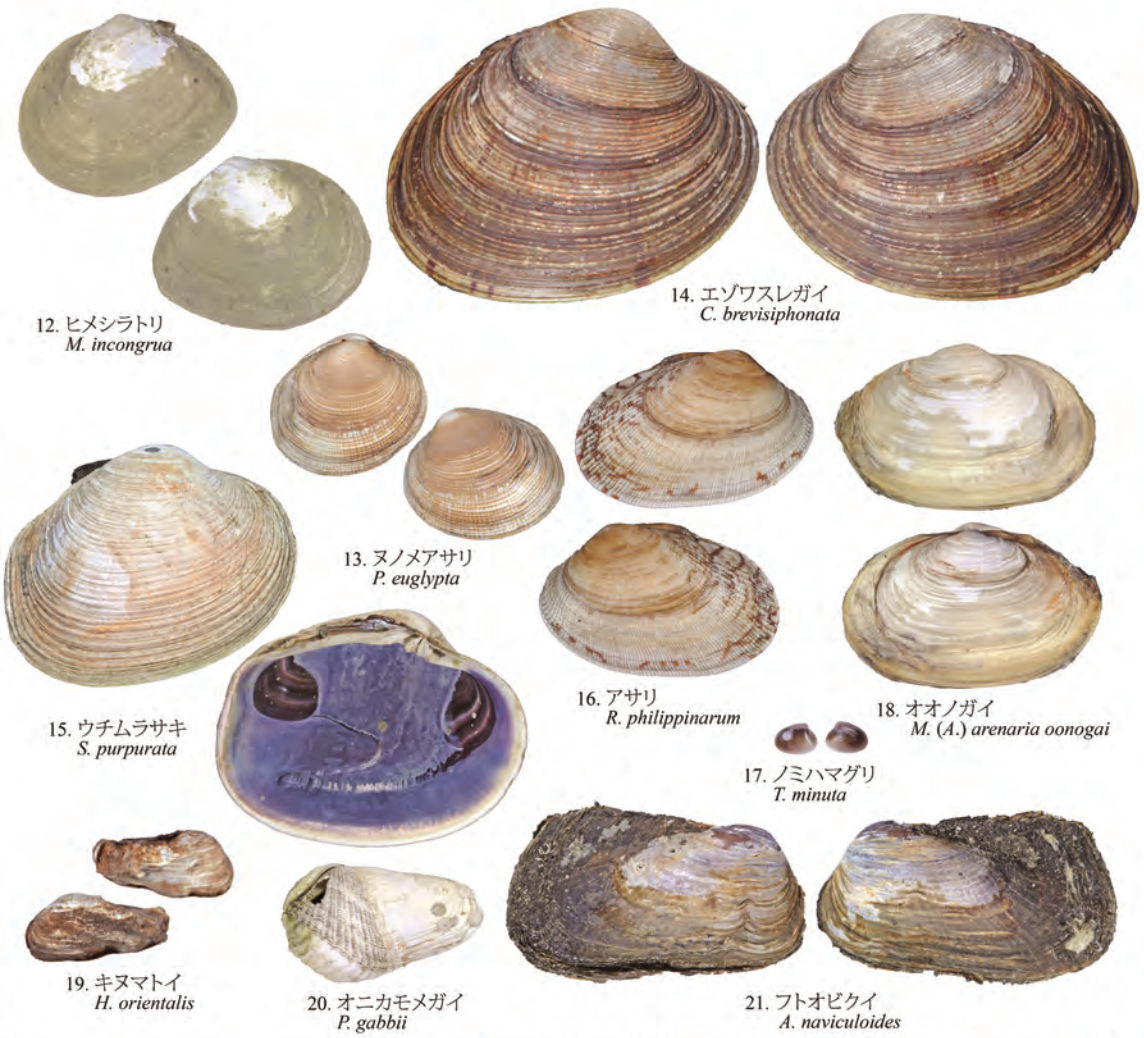


ホタテガイ *M. yessoensis* の鰓の電子顕微鏡写真。二枚貝は，鰓を使って，呼吸や摂餌する。

二枚貝綱・マルスダレガイ目 / ウミタケガイモドキ目 BIVALVIA・Veneroida / Pholadomyoida

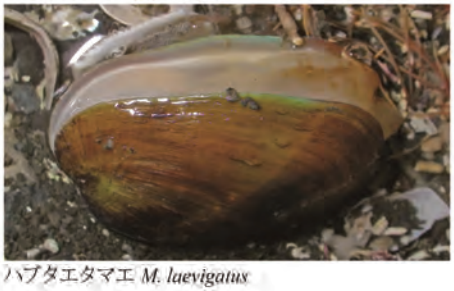


上段左: ノミハマグリ *Turtonia minuta* (Fabricius, 1780), **右**: エゾイシカゲガイ *Clinocardium californiense* (Deshayes, 1839), **中段左**: ヌノメアサリ *Protothaca euglypta* (Sowerby III, 1914), **右**: エゾワスレガイ *Callista brevisiphonata* (Carpenter, 1864), **下段左**: キヌマトイ *Hiatella orientalis* (Yokoyama, 1920), **左**: フトオビクイ *Agriodesma navicula* (Adams & Reeve, 1850)




ウバガイ *P. sachalinense*


ヌノメアサリ *P. (N.) euglypta*


ハブタエタマエ *M. laevigatus*

多板綱 POLYPLACOPHORA
新ヒザラガイ目 Neoloricata

サメハダヒザラガイ科 Leptochitonidae

1. エゾサメハダヒザラガイ
   Leptochiton assimilis Thiele, 1909
   肉帯はコンペイ糖様の顆粒状となり，幅は狭い。殻板はもろく，壊れやすい。岩礁帯の窪みに生息している。殻色の変異は他種と比べて少なく，白ないし肌色に近い色になる場合が多い。

ウスヒザラガイ科 Ischnochitonidae

2. セワケヒザラガイ
   Schizoplax brandtii (Middendorff, 1847)
   殻板の中央に亀裂が現れることから，他のヒザラガイと容易に区別できる。貝殻の色彩，パターンは変異に富む。転石帯の転石下で多く見られる。

3. エゾマダラヒザラガイ
   Tonicella granulata Yakovleva, 1952
   生時と標本時では，殻色が著しく異なる。生時の貝殻と肉帯は暗い色であるが，エタノールやホルマリンなどの液浸標本の場合は，鮮やかなオレンジ色となる。元記載における模式標本のスケッチは，鮮やかなオレンジ色。

4. ハコダテヒザラガイ
   Ischnochiton hakodadensis Pilsbry, 1893
   殻色は変異に富む。肉帯の鱗片はオレンジ粒様の形となる。転石の下に付着している場合が多い。

5. エゾヤスリヒザラガイ
   Lepidozona (*Tripoplax*) *albrechti* (Schrenck, 1863)
   殻色の変異は少なく，ほとんどは赤色で黒褐色の斑点が現れる。転石の下に付着している場合が多く，比較的大型になる。

ヒゲヒザラガイ科 Mopaliidae

6. オオヒゲヒザラガイ
   Mopalia seta Yakovleva, 1952
   肉帯は枝分かれする丈夫な茶褐色の毛で覆われる。潮間帯での生息数は少ない。

7. キタノババガゼ
   Placiphorella borealis Berry, 1917
   肉帯はパイプ状の毛で覆われる。他のババガゼ類と同様に肉食性。

ケハダヒザラガイ科 Acanthochitonidae

8. オオバンヒザラガイ
   Cryptochiton stelleri (Middendorff, 1847)
   ヒザラガイ類では世界最大サイズの 40 cm 程度まで成長する。殻板は軟体部に覆われて，外部から見ることは出来ない。肉帯は白と赤の斑点様の色彩パターンで，花びら状に広がる微細な棘で覆われる。食用。

腹足綱 Gastropoda
カサガイ目 Patellogastropoda

ユキノカサガイ科 Lottiidae

1. シロガイ
   Lottia cassis (Eschscholtz, 1833)
   次種のサラサシロガイと混同される場合があるが，本種は，貝殻内面の周縁部は淡い褐色斑に縁取られ，その内側は純白となる。

2. サラサシロガイ
   Lottia sp.
   貝殻内面の周縁部の褐色帯と白斑は明瞭，その内側は純白となる。本種の学名は確定していない。

3. コモレビコガモガイ
   Lottia tenuisculpta Sasaki & Okutani, 1994
   殻頂から縁辺部にかけて放射状の細い肋が現れる。殻色の模様のパターンの変異は多いが，黒褐色の殻色に白い放射彩が現れる場合が多い。

4. ベッコウシロガイ
   Tectura emydia (Dall, 1914)
   殻色パターンは白褐色に黒色の斑点が現れる場合や，やや赤味を帯びた殻色に黒褐色の斑点が現れる場合が多い。

5. ユキノカサガイ
   Niveotectura pallida (Gould, 1859)
   殻高は変異に富み，高くなる場合から低くなる場合と様々であるが，厚岸の潮間帯では高くなるタイプが多い。主に，歯舌で石灰藻を削って食べることから，磯焼けの回復に貢献する可能性があると考えられている。

6. カモガイ
   Lottia dorsuosa (Gould, 1859)
   殻高は高く，岩礁帯の潮の流れが速い場所を好んで，集団で生活する。本種は暖流系の貝類の一種で，北海道の太平洋沿岸では，厚岸が分布の北限となる。今回の調査では 1 個体のみ確認された。

古腹足目 Vetigastropoda

スカシガイ科 Fissurellidae

7. コウダカスカシガイ
   Punctrella nobilis A. Adams, 1860
   貝殻はカサ型で，殻頂部に穴が開く。殻頂から周辺部へ向かって，強い等間隔の肋が現れる。

ニシキウズガイ科 Trochidae

8. エゾシタダミ
   Margarites helicinus pilsbryi (Kuroda & Habe, 1952)
   小型の巻貝の一種で，岩の窪みや海藻の表面に付着する。殻は光沢があり，白色の個体が占めるが，赤褐色を帯びる個体も見られる。

盤足目 Discopoda

タマキビ科 Littorinidae

9. エゾタマキビ
Littorina (*Littorina*) *squalida* Broderip & Sowerby, 1892
タマキビ類では大型になるタイプで，稀にタマキビと混同されるが，エゾタマキビの 1 cm 程度の幼貝では，殻頂がタマキビと比べて高く，さらに尖ることで容易に区別できる。また，貝殻はタマキビと比べて厚い。成貝においても，貝色のパターンは，タマキビとも異なり，本種の殻色は全体的に明るいクリーム色で，黒色の細い線が現れる。

10. クロタマキビ
Littorina (*Neritrema*) *sitkana* (Philippi, 1846)
潮間帯上部で最も普通に見られる。発生様式は直達型で産卵は年 1 回で寿命は約 2 年。産卵は春で転石の下など波当たりが弱い場所で行われる。日本近海において，貝殻表面の彫刻パターンは 3 タイプが知られており，厚岸で見られるタイプは貝殻表面全体が滑らかになるタイプ。

11. コウダカチャイロタマキビ
Lacuna (*Epheria*) *decorata* (A. Adams, 1861)
貝殻は茶色で，薄く，体層は，よく膨らむ。海藻の葉上に生息している。

12. ウチダヘソカドタマキビ
Lacuna (*Lacuna*) *uchidai* (Habe, 1953)
殻口は大きく，大きな足でスガモの葉上に多く付着している。発生様式は直達型。

ナタネツボ科 Falsicingulidae

13. ナタネツボ
Falsicingula kurilensis (Pilsbry, 1905)
殻はよく膨らみ，縫合は明らか。貝殻は薄く，茶褐色。殻口は円形。

カリバガサガイ科 Calyptraeidae

14. エゾフネガイ
Crepidula grandis Middendorff, 1849
本来はホタテガイなどの二枚貝に付着して，二枚貝の排泄物を餌として利用しているが，転石の下で見られる場合が多い。潮間帯で見られる個体は，比較的扁平な場合がほとんど。潮間帯以深でホタテガイの表面に付着する個体は，よく膨らむ。サハリン南部の岩礁潮間帯では，チヂミボラの貝殻表面に付着している。

カツラガイ科 Capulidae

15. カゴメナワボラ
Trichotropis (*Ariadnaria*) *insignis* (Middendorff, 1849)
殻は白褐色で，表面は凹凸で，壊れやすい。転石の下や上で，比較的普通に見られる。本種は，本来，水深 80 m 程度に分布すると知られていたが潮間帯から生息していることがわかった。ホンヤドカリなどのヤドカリ類の宿として利用されている場合が多い。

ハナズトガイ科 Velutinidae

16. モモイロハナズトガイ
Velutinidae (*Velutella*) *plicatilis* (Müller, 1774)
貝殻表面には打撃跡があり，殻はやや柔らかく，比較的丈夫。外套膜には黄色と茶色の色素が交互に現れる。

17. ウチダベッコウタマガイ
Marsenina uchidai (Habe, 1958)
生時，貝殻表面は黄色い外套膜で覆われる。貝殻は薄く，白色。表面は滑らか。

18. ウスカワハナズトガイ
Velutina (*Velutella*) *cryptospira* Middendorff, 1849
貝殻表面は滑らかで，殻皮に覆われる。軟体部は鮮やかなオレンジ色。

タマガイ科 Naticidae

19. クリガイ
Bulbus tenuiculus (Sowerby, 1915)
貝殻は茶褐色で，薄く，薄い茶色い殻皮をかぶり，壊れやすい。軟体部は白色で，表面には黒色の斑点が散りばめられ，伸びきった状態では，その長さは殻高の約 3 倍になる。普段は砂の中に潜って生活しているが，砂の表面を移動している時は，軟体部が目立つため見つけやすい。

20. ヒラセタマガイ
Cryptonatica hirasei (Pilsbry, 1905)
貝殻は白色で，断続的な茶褐色の帯状の線が 2 本現れる。軟体部は白色で，黒い斑模様が認められる。足を水面に広げて，移動する場合がある。

フジツガイ科 Ranellidae

21. アヤボラ
Fusitriton oregonensis (Redfield, 1848)
潮間帯で見られる本種は，潮間帯以深で見られる個体と比べて，殻高は小さく，7 cm 程度。厚岸南側では少ないが，大黒島で多く見られる。貝殻表面は毛状の殻皮で覆われることから「毛つぶ」と市場で呼ばれている。腐肉食性。食用となる。

新腹足目 Neogastropoda

アッキガイ科 Muricidae

22. エゾヨウラク
Ceratostoma inornatus endermonis (Smith, 1875)
カギヨウラクの北方型とも考えられるが，カギヨウラクの特徴を持つ個体と，エゾヨウラクの特徴を持つ個体が同所的に生息している。a' はエゾヨウラク型で，貝殻表面は微細な棘で覆われる。b' はカギヨウラク型で貝殻表面は滑らか。

23. ツノオリイレ
Boreotrophon candelabrum (Reeve, 1847)
殻は白色で，規則的な間隔で，貝殻表面にヒレ状の突起が形成される。潮間帯の個体は潮間帯下部に生息する個体と比べて貝殻は厚い。肉食性で，二枚貝などを捕食する。

24. チヂミボラ
Nucella lima (Gmelin, 1791)
殻色は，たいてい茶色だが，灰白色に茶褐色の帯状の色が現れるタイプや，黄色，紫色などの個体も見られる。貝殻形態に見られる変異は多く，それらの変異に対して現在までに多くのシノニムが与えられてきた。肉食性で二枚貝などを捕食するが，潮間帯上部に生息する個体は，クロタマキビなどの巻貝も捕食する場合がある。発生様式は直達型。岩の窪みに密集して生息している場合が多い。

エゾバイ科 Buccinidae

25. チシマバイ
Buccinum chishimanum Pilsbry, 1904
貝殻は薄く，壊れやすい。貝色は暗い茶色に，雲模様の色彩が現れる。成熟サイズはコエゾバイより小型となる。食用となる。

26. コエゾバイ
Buccinum mirandum Smith, 1875
貝殻は厚く，貝殻表面の彫刻は格子状となる。色彩の変異は多く，白褐色から茶褐色までと様々。食用となる。

27. エゾバイ
Buccinum middendorffi Verkruzen, 1882
貝殻は厚く，殻色は明るい肌色で，表面に黒褐色の斑点が現れる。貝殻表面は凸凹で，成熟個体において，殻口部は肥厚する。潮間帯での生息数は少ない。食用となる。

28. ヒメエゾボラ
Neptunea (*Barbitonia*) *arthritica* (Bernardi, 1857)
貝殻は堅く，殻色は暗い灰色，殻頂部は丸みを帯びる。縫合は浅く，体層はよく膨れ，一定の間隔で肩の部分がこぶ状に膨れる。蓋の核は下にある。食用となる。

29. ヒメモスソガイ
Volutharpa ampullacea (Middendorff, 1848)
貝殻は卵型で，薄く，薄い殻皮に覆われる。蓋は小さい。

フトコロガイ科 Columbellidae

30. コウダカマツムシ
Mitrella burchardi (Dunker, 1877)
貝殻表面は滑らかで，色彩の変異は多い。縫合は滑らか。

二枚貝綱 BIVALVIA

イガイ目 Mytiloida

イガイ科 Mytilidae

1. ムラサキイガイ
Mytilus galloprovincialis Lamarck, 1819
貝殻表面は厚く光沢がある黒い殻皮で覆われる。貝殻は薄い紫色。

2. イガイ
Mytilus coruscus Gould, 1861
貝殻は厚く，殻皮の光沢は鈍く，大型個体は，乾燥に伴い，貝殻の一部が割れる場合が多い。

3. エゾヒバリガイ
Modiolus kurilensis Bernard, 1983
殻は薄く，赤茶色の厚い殻皮をかぶる。貝殻の周縁部の先端周辺に，厚い殻皮が変形した毛が生える。

4. ハブタエタマエガイ
Musculus laevigatus (Gray, 1824)
貝殻は薄く，黒く，薄くて黒い殻皮をかぶる。形はほぼ長方形。スガモの根や岩の窪みに生息している。

カキ目 Ostreoida

イタボガキ科 Ostreidae

5. マガキ
Crassostrea gigas (Thunberg, 1793)
貝殻表面は激しく隆起し，もろい。厚岸湖ではマガキの養殖がさかんに行われている。地元では 1 個体 80 円から 300 円程度で売られている。

6. イワガキ
Crassostrea nippona (Seki, 1934)
左殻はやや膨れる。貝殻は不定形で，付着する場所や基質によって変異に富む。

イタヤガイ科 Pectinidae

7. エゾキンチャク
Swiftopecten (*Swiftopecten*) *swiftii* (Bermardi, 1858)
貝殻表面は階段状に凸凹となり，横肋と縦肋が交差する箇所で隆起する。固着性の貝類で，岩場に足糸で付着する。食用となり，貝柱の味はホタテガイより濃厚な旨みがある。貝殻の独特な形から別名「ばばの手」と呼ばれる。

8. アカザラ
Chlamys (*Azumapecten*) *farreri akazara* (Kuroda, 1932)
貝殻表面は細かい肋に覆われ，肋上に微細な棘が発達する。貝殻の色は変異に富み，白色，黄色，赤色と様々であるが，ほとんどは赤茶色。食用となる。

9. ホタテガイ
Mizuhopecten yessoensis (Jay, 1856)
片方の貝殻は膨らむが，もう一方は平坦に近い。ホタテガイの肋の本数は地域ごとに異なっていることが知られており，どのような要因が，肋の本数を決定づけているのか知られていない。時化の際，大量に海岸へ打ち上げられる。厚岸湾では水深 50 cm 程度から生息している。食用。

マルスダレガイ目 Veneroida

ザルガイ科 Cardiidae

10. エゾイシカゲガイ
Clinocardium californiense (Deshayes, 1839)
貝殻はよく膨らみ，貝殻表面には 43 本内外の肋が現れる。肋の本数によって，いくつかの名前が与えられたが，本種のシノニムとして扱われている。貝殻表面に殻皮がかぶるコケライシカゲガイは，厚岸湾沖合の水深 40 m 程度に生息している。トリガイの代用品として扱われる場合があり，旨い。

バカガイ科 Mactridae

11. ウバガイ
Pseudocardium sachalinense (Schrenck, 1862)
貝殻は良く膨らみ，楕円形で，厚い殻皮をかぶるが，古い殻皮は脱落し，貝殻が露出する。貝殻は白色。近縁種のナガウバガイは，貝殻の膨らみは弱く，長方形に近い。

ニッコウガイ科 Tellinidae

12. ヒメシラトリ
Macoma incongrua (Martens, 1865)
殻は卵型で，後端は右にねじれる。貝殻は白色，表面はやや厚い殻皮で覆われる。

マルスダレガイ科 Veneridae

13. ヌノメアサリ
Protothaca euglypta (Sowerby, 1914)
貝殻は良く膨れる。殻色は白色で，表面は成長線と縦肋がぶつかって，格子状になる。食用になるが，味はアサリに劣る。

14. エゾワスレ
Callista brevisiphonata (Carpenter, 1864)
貝殻は厚く，膨れる。貝殻表面は，光沢のある茶褐色の厚い殻皮で覆われる。

15. ウチムラサキ
Saxidomus purpurata (Sowerby, 1852)
貝殻は堅く，表面は薄い赤茶色で，不規則な成長線で覆われる。貝殻の内面は薄紫色。

16. アサリ
Ruditapes philippinarum (Adams & Reeve, 1850)
貝殻は楕円形で，色彩パターンは変異に富む。殻頂から周縁部へ肋が現れ，後方ほど肋の隆起は強く，間隔は広くなる。

ノミハマグリ科 Turtoniidae

17. ノミハマグリ
Turtonia minuta (Fabricius, 1780)
貝殻表面は卵型で，貝殻表面は滑らか。海藻が繁茂する場所でタモを用いると大量に採集できる。

オオノガイ目 Myoida

オオノガイ科 Myidae

18. オオノガイ
Mya (*Arenomya*) *arenaria oonogai* Makiyama, 1935
貝殻は楕円形で，薄く，白い。貝殻表面は薄い殻皮で覆われる。砂中に深く潜って生活しているが，老成個体は，海境変化で，いったん砂から掘り出されると，再び，砂中へ潜ることはできない。

キヌマトイガイ科 Hiatellidae

19. キヌマトイガイ
Hiatella orientalis (Yokoyama, 1920)
貝殻は白色で，薄い茶褐色の殻皮で覆われる。貝殻の表面は不定形で，凹凸があるものから，比較的滑らかな個体まで変異がある。後端は裁断状になる。転石の下やコンブ類の根の隙間に足糸で付着する。

ニオガイ科 Pholididae

20. オニカモメガイ
Penitella gabbii (Tryon, 1863)
貝殻は白色，よく膨らむ。柔泥底に穴を掘って生活する。このグループは食用とされ，旨い場合が多い。本種の味については未確認。

ウミタケモドキ目 Pholadomyoida

オキナガイ科 Laternulidae

21. フトオビクイ
Agriodesma naviculoides Dall, 1909
貝殻は光沢がある真珠色で，表面は淡い茶色の殻皮をかぶり，腹縁はへこむ。海藻の根元や岩礁などに足糸で付着する。

3. 厚岸臨海実験所付近の貝類相の特徴

厚岸臨海実験所と同様に北海道太平洋沿岸に位置する臼尻（北方圏貝類研究会，2009)，色丹島（野別・山崎，2011）(図 3-2) から報告された貝類の分布を元に，それぞれの地点に生息する貝類の分布組成を比較すると，西側に位置する臼尻から東側へ位置する色丹島に向かうに従って，南方に分布の中心がある種類は減少し，北方に分布の中心がある種類が増大する傾向が見られた (図 3-3)。この結果は，北海道の東側から流入する冷たい千島海流に起因すると考えられた。すなわち，3 地点の中で，千島海流の影響を強く受ける最も東側に位置する，色丹島では寒流系種の割合は多く，一方，最も西側に位置し，千島海流の影響は比較的少ない臼尻では，寒流系の種類の他にイボニシなどの暖流系の種類も出現し，相対的に寒流系の種類は少なくなる。

厚岸臨海実験所付近の海岸で見られる貝類は，例えばカゴメナワボラやエゾフネガイのように北海道南西部において潮間帯下部以深に生息している種類が，潮間帯で普通に見られた。このような垂直分布を示すのは，生物地理学的に興味深い。

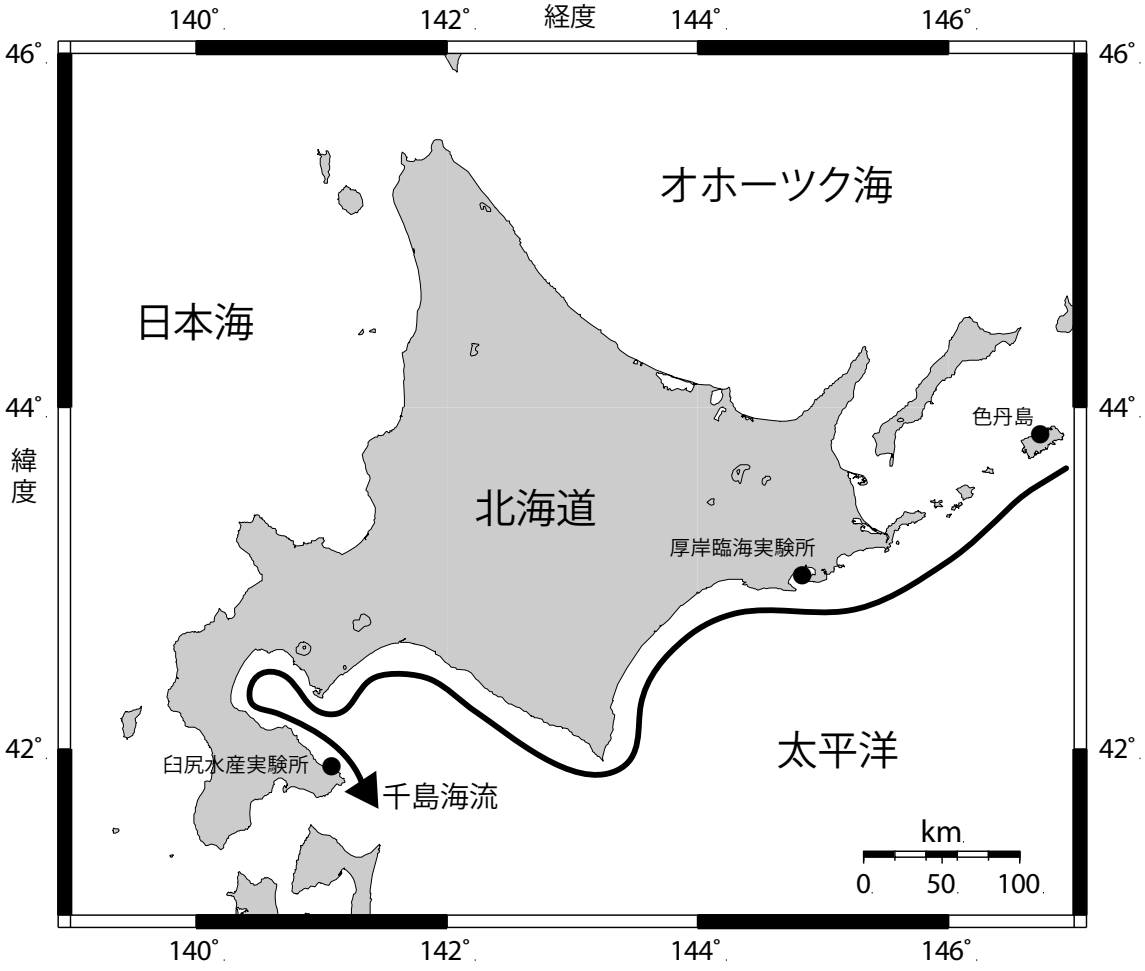
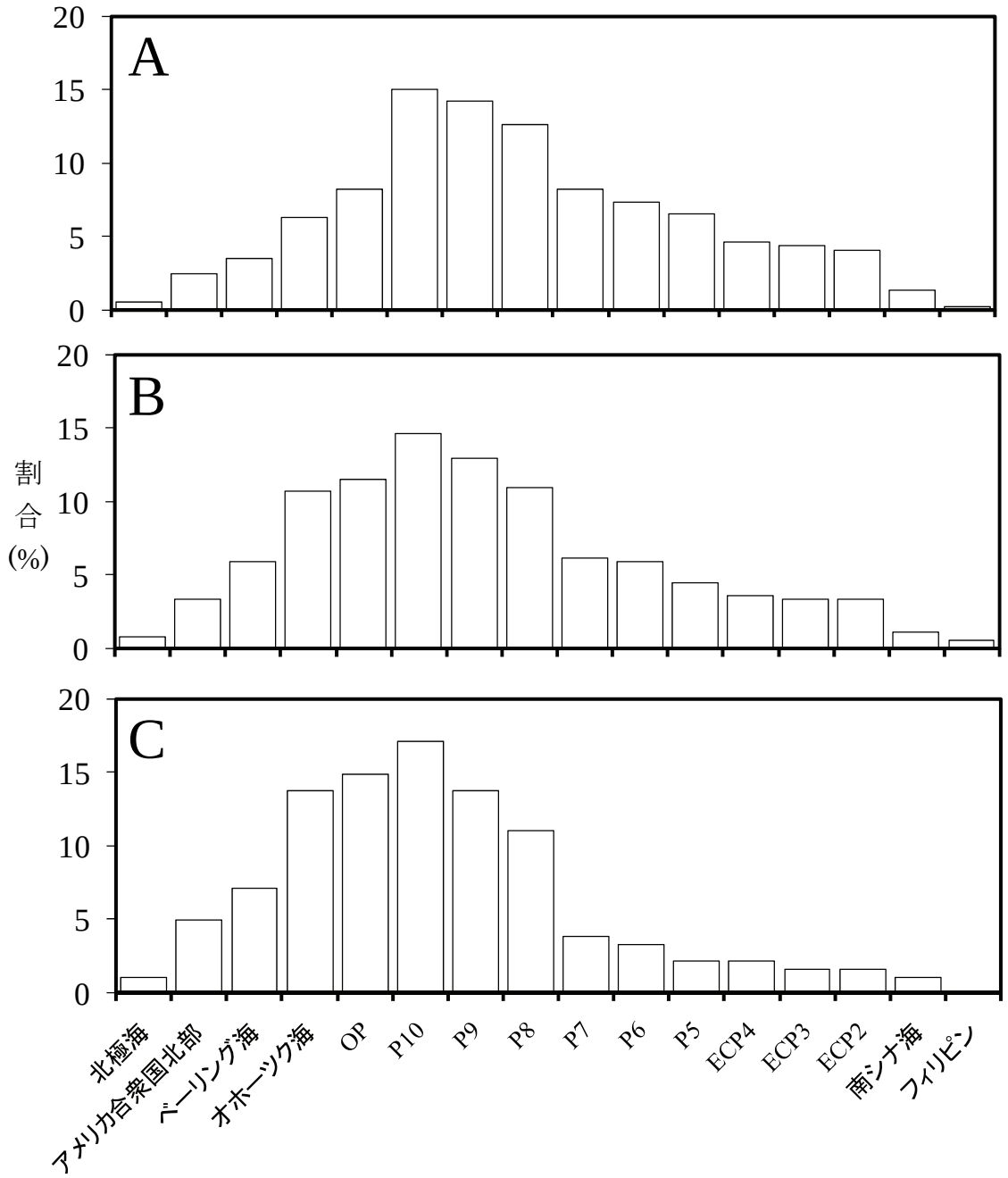


図 3-2 臼尻水産実験所，厚岸臨海実験所，色丹島の位置関係を示す。



Higo et al. (1999) による太平洋西岸近海の分類

図 3-3 北海道太平洋沿岸に位置する臼尻 (A), 厚岸 (B), 色丹島 (C) から報告された貝類の分布範囲から求めた分布組成。OP: 北海道東部近海, P10: 北海道太平洋沿岸, P9: 東北地方太平洋沿岸, P8: 宮城県以南, 銚子以北, P7: 房総半島近海, P6: 相模灘以南, 和歌山以北, P5: 四国, 九州太平洋沿岸, ECP4: 薩南諸島近海, ECP3: 奄美諸島近海, ECP2: 沖縄県周辺海域を示す。

引用文献

北方圏貝類研究会. 2009. 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター臼尻水産実験所付近の貝類. v + 76 pp. 函館.

野別貴博・山崎友資. 2011. 色丹島で確認された貝類. 知床博物館研究報告, 32: 1-8.

筆者一覧

山崎友資 Tomoyasu Yamazaki
1982 年 生まれ (北海道)
2010 年 北海道大学大学院 水産科学院博士課程修了 (水産科学)
北方圏貝類研究会会長
所属学会: 日本貝類学会, 日本ベントス学会, 日本生物地理学会
新種の貝としてウシオシャクシガイ, 和名新称としてシェプカエゾバイ等がある。
研究のキーワード: Rapid evolution, 進化, 可塑性, 生態学, 分類学。

柏尾　翔 Sho Kashio
1987 年生まれ (滋賀県)
北海道大学大学院 水産科学院
北方圏貝類研究会会員 2008 年度～
北海道におけるマナマコの生態学的研究を行っている。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター

厚岸臨海実験所付近の貝類 潮間帯編

Molluscan Fauna of Akkeshi Marine Station
Field Science Center for Northern Biosphere, Hokkaido University
Part 1. Intertidal areas.

2011 年 3 月　　第 1 版 第 1 刷発行

編著 北方圏貝類研究会 山崎友資
Conchological Club of Northern Regions, Hokkaido University
Tomoyasu Yamazaki
http://wsnr.web.fc2.com/wsnr/index.html

発行者　北方圏貝類研究会

印刷所　三和印刷
〒040-0061 北海道函館市海岸町 8 番 11 号

ISBN 978-4-9904532-1-3

非　売　品

本図鑑の作成は北海道大学元気プロジェクト 2009・2010 の助成を受けて行われました。

ISBN 978-4-9904532-1-3